

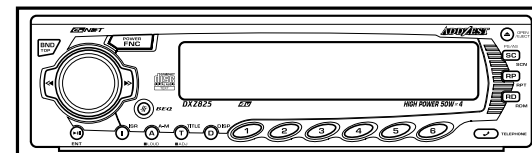
**ADDZEST**

CD センターユニット

***DXZ825***

取扱説明書

目次 Page>>>



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

この取扱説明書には、本機で操作するCD/MD/DVDチェンジャー、TVチューナー、TELリンクユニットの操作説明も含まれています。CD/MDチェンジャー、TVチューナーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

# 目次

## はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

### 主な特長

主な特長	6
------	---

### ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために	8
安全上のご注意	9

### 取扱上のご注意

本体のお手入れについて	12
ディスプレイについて	12
表示画面について	12
エラー表示について	12
スロープコンソールについて	12
CDの演奏について	13
CDについて	13

## 本機の操作

### 各部の名称とはたらき

本体部	14
システムチェック時のディスプレイ表示	16
電源ON/OFF時のディスプレイ表示	17
各種設定/調整時のディスプレイ表示	18
モード別ディスプレイ表示	20
(別販)リモコン(RCB-158)の使いかた	24

### 基本の操作

電源を入れる	26
モードを選ぶ	26
音量を調節する	27
ラウドネスをON/OFFする	27
表示を切り換える	28
時刻を合わせる	29
音質を簡単に設定する(ビートEQ機能)	30
ビートEQ量を調整する	31
トーンバイパスを設定する	31
ノンフェダー出力の音量を調整する	32
音質を調整する(バス/ミッド/トレブル)	32
バランス/フェダーを調整する	34
タイトル表示を切り換える	35
タイトルをスクロールさせる	35

## ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ	36
受信バンドを切り換える	36
自動選局する(シーク選局)	36
手動選局する(マニュアル選局)	37
プリセット選局する	37
プリセットメモリーする	37
自動メモリーする(オートストア機能)	37
放送を確かめる(プリセットスキャン)	38
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	38

## CDを聴く

CDを入れる	39
CDを取り出す	39
すでに入っているCDを聴く	40
曲を選ぶ	40
早送り/早戻しする	40
演奏を止める(一時停止する)	41
最初の曲から聴く(トップ機能)	41
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	41
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	41
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	41

## タイトルをつける

タイトルを入力する	42
イージーインプットをする	44
タイトルを削除する	45

## 設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ	46
ノンフェダー出力調整表示のON/OFFを設定する(NON-FADER)	47
ディマーレベルを設定する(DIMMER LV)	47
ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)	48
ボタンイルミネーションを設定する(KEY-ILLUMI)	48
スクリーンセーバーを設定する(AUTO SS)	49
メッセージを表示させる(MESSAGE)	50
ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)	50
タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)	51
携帯用オーディオ(AUXモード)の入力レベルを設定する(AUX SENS)	51
チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)	52
TVエリアを設定する(TV AREA)	53
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)	54
電話の割り込みを設定する(TEL-SP)	54

外部機器の操作/その他については  
次ページをご覧ください。

# 目次

## 外部機器の操作

### CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



チェンジャーモードを選ぶ	55
聴きたいディスクを選ぶ	56
曲を選ぶ	56
早送り/早戻しする	56
演奏を止める(一時停止する)	57
最初の曲から聴く(トップ機能)	57
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	57
聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)	57
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	57
1枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	58
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	58
全ディスクの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	58

### テレビを見る

TVモードを選ぶ	59
受信バンドを切り換える	59
自動選局する(シーク選局)	59
手動選局する(マニュアル選局)	59
プリセット選局する	60
プリセットメモリーする	60
自動メモリーする(オートストア機能)	61
放送を確かめる(プリセットスキャン)	61
ステレオ/モノラル音声を切り換える	61
主音声/副音声を切り換える	61
ビデオを見る	61

### DSPを操作する

ACプロセッサのモードを切り換える	62
DSFの操作(スタンダードモード)	63
リスニングポジションを設定する	63
リスニングポジションを調整する	63
DSFメニューを選ぶ	64
DSF効果をON/OFFする	65
DSFを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	65
G.EQの操作(スタンダードモード)	66
G.EQメニューを選ぶ	66
G.EQ効果をON/OFFする	67
G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	67
VSEの操作(プロモード)	68
VSEメニューを選ぶ	68
VSE効果をON/OFFする	69
VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	69

P.EQの操作(プロモード)	70
P.EQメニューを選ぶ	70
P.EQ効果をON/OFFする	71
P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	71
ユーザーメニューにタイトルをつける	72
サブウーファー、オートラウドネス、再生帯域の出力の調整	73

### 携帯電話機を操作する

電話をかける(スーパースピードダイヤル)	74
着信電話を保留する	75
通話音量を調整する	75

### その他の外部機器を操作する

MDデッキを操作する	76
携帯用オーディオを聴く(AUXモード)	76

## その他

システムアップについて	77
CeNETケーブルについて	78
故障と思われる前に	78
エラー表示について	80
仕様	81
アフターサービスについて	82

本機は、AM/FMラジオとCDを内蔵し、別販のDVDチェンジャー、CDチェンジャー、MDチェンジャーまたはTVチューナーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の1DINセンターユニットです。

## フロントパネル

- 大型ディスプレイを可能とした電動スローコンソール機構
- アルミ材を使用した高級感あるフロントパネルを採用

## 表示部

- 大型高輝度LCDディスプレイ採用

## BEQ Beat Equalizer

- BASS BOOST、IMPACT、EXCITEの3パターンの音質効果をメモリーし、好みの音質を即座に設定できます
- 3バンド(Low/MID/HIGH)の周波数帯域毎に、好みの音質に調整することが可能です

## 4Vハイボルトアウトプット(RCA出力)

- ノイズに強い4Vハイボルトアウトプットを採用

## 携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)

- ポータブルMDやDVD等が接続できるAUX入力端子(RCA)を装備

## 50W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力50W×4chのハイパワーアンプを内蔵

## LINE-IN/OUT切替機能(ループバック接続)

- (別販) エクスパンドDSPまたは、5.1chサラウンドデコーダーを組み合わせる場合に、LINE-OUT 4ch出力をLINE-IN 4ch入力に切り換え、内蔵アンプを使用することができます。

## ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能
- 30局の放送局名インプット機能
- FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリーした放送局を、順に受信するプリセットスキャン機能

## CDプレーヤー部

- 24bitD/Aコンバーター搭載
- CDテキスト/CD-R/CD-RW再生対応
- 50曲のCDタイトルインプット機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能

## タイトル入力機能

- ラジオ、TVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

## CeNET (Clarion Entertainment Network:シーイーネット) 結線対応

- 外部機器との結線にCeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要になりました。
- MDデッキをセンターユニット(本機)から操作できるデッキコントロール機能
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

## DVDチェンジャーコントロール(別販品接続時)

- DVD/ビデオCD/CD/MP3再生対応
  - チャプター送り、戻しなど、主な操作をコントロール
- 詳細機能についてはDVDチェンジャーに付属のリモコンでコントロール

## CD/MDチェンジャーコントロール(別販品接続時)

- 60曲のCDタイトルインプット機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納している全ディスクの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

## TVチューナーコントロール(別販品接続時)

- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能
- 30局の放送局名インプット機能
- TV12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリーした放送局を、順に受信するプリセットスキャン機能

## DSP/イコライザーコントロール(別販品接続時)

- 12種類のベーシック音場メニューおよび6種類のユーザー音場メニューから選べるデジタル・サウンド・フィールド(DSF)、およびグラフィックイコライザー(G.EQ)、バーチャルスペースエンハンサー(VSE)、パラメトリックイコライザー(P.EQ)機能。また、各種きめ細かな調整により、好みの音場・音質に設定することが可能です
- きめ細かく調整できる5つのリスニングポジション機能

## TEL-LINKユニットコントロール(別販品接続時)

- 携帯電話機のダイヤルメモリーを呼出して電話をかけるスーパースピードダイヤル機能
- 詳細機能については付属のコントローラーでコントロール

# ご使用の前に

## 安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

## 安全上のご注意

### 使用上のご注意

#### 警告

走行中は運転者による操作をしない…

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



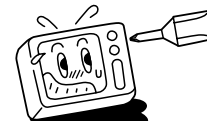
走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない…

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。



ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



## 安全上のご注意

### ⚠ 警告

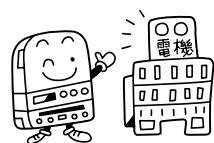
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…

専門技術と経験が必要です。



### ⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる場合があります。



スロープコンソールの開閉時に、機構部に手や指を近づけない…

ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に手や指を入れない…

ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に異物を入れない…

火災や感電の原因となることがあります。



本機を車載用以外には使用しない…

感電やケガの原因となることがあります。



アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない…

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



電源を切るときは、音量を最小にする…

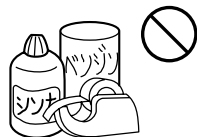
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



# 取扱上のご注意

## 本体のお手入れについて

本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



### 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

## ディスプレイについて

本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

## 表示画面について

非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。  
常温に戻れば回復します。  
液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。  
常温に戻れば回復します。

## エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(80ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

## スロープコンソールについて

スロープコンソールは閉じた状態で使用してください。  
本機を長時間使用しないときや、車側のエンジンキーをOFFにする場合は、安全のためスロープコンソールを閉じた状態にしてください。  
スロープコンソールが完全に閉じる前に、ブレーキ音が出ることがありますが、これは安全機構上の動作音のため、故障ではありません。  
スロープコンソールの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。  
車側のアクセサリ電源が切れた状態でスロープコンソールを手で動かすと、ガタつきがおこることがあります。元の状態へ戻すには、車側のアクセサリ電源を入れてから、オープンボタンを押して、スロープコンソールを閉じてください。

操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。  
スロープコンソールは、ディスクをイジェクトした後、警報音を鳴らしてから、自動的に閉じた状態に戻ります。  
スロープコンソールが閉じるときに指や異物などの障害がある場合は、安全機構がはたらき、開いた状態に戻ります。再び動作させるには、障害物を取り除いたあと、オープンボタンを押してください。

### 注意

スロープコンソールの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

## CDの演奏について

車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。  
CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。  
本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。  
CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。  
8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

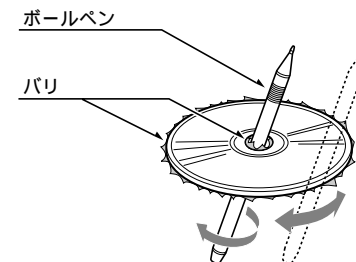
## CDについて

COMPACT DISC DIGITAL AUDIO または COMPACT DISC DIGITAL AUDIO TEXT マークのついたCDをご使用ください。  
また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。  
CD-ROMは、本機では使用できません。  
CD-R/CD-RWで記録されたディスクは使用できない場合があります。

### 取扱い上のご注意

CD-Rは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。  
記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。  
レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。  
セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

新しいICDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



### 保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

直射日光の当たる場所  
湿気やホコリの多い場所  
暖房の熱が直接当たる場所  
お手入れ

汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。  
従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

# 各部の名称とはたらき

## 本体部

**POWER FNC** ファンクションボタン

- 電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。
- 電話モード時には通話を開始します。

**BND TOP** バンドボタン

- ラジオ/TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)で自動選局か手動選局に切り換えます。
- CDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- チェンジャーモード時は、ディスクの切り換えに使用します。(ディスクアップ機能)
- 電話モード時には通話を終了します。

**ロータリーボリューム**

ロータリーボリュームのツマミを押すと引き出すことができます

- 時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
- アジャストモード時には、各種の設定に使用します。

**サーチコントロールボタン**

- ラジオ/TVモード時は選局に使用します。
- CDモード時やチェンジャーモード時には選曲に使用します。押し続けると早送り/早戻しを行います。

**BEQ** ビートEQボタン

- 音質を3段階に切り換えます。

リモコン受光部

ディスプレイ部  
選局/演奏状態の各情報  
を表示します。

**ENT** プレイ/ポーズボタン

- CDモードやチェンジャーモード時は、演奏の一時停止をします。また、各種設定の決定をします。

**ISR** ISRボタン

- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)

**A-M** オーディオモードボタン

- 音質とバランス/フェダーを調整します。
- 押し続けると低音を強調します。(ラウドネス機能)

**TITLE** タイトルボタン

- ラジオ/TV局の名称や、CDモードやCDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除、MDチェンジャーモード時のタイトルスクロールなどに使用します。
- 押し続けて各種の設定や調整をするときに使用します。

**DISP** ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続けると(約1秒間)ユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。

**ダイレクトボタン**

- 1
- 6
- ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
- チェンジャーモード時にはディスクを選択します。
- 電話モード時には、ダイヤルメモリーを呼出します。

**OPEN/EJECT** オープンボタン

- スローコンソールをオープンし、CDをイジェクトします。

**PS/AS SCN** スキャンボタン

- CDモード、チェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- ラジオ/TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

**RPT** リピートボタン

- CDモード、チェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。

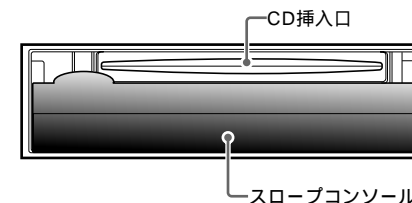
**RD RDM** ランダムボタン

- CDモード、チェンジャーモード時にランダム演奏をします。

**TELEPHONE** 電話ボタン

- 電話モードに切り換えます。

## スローコンソールオープン状態

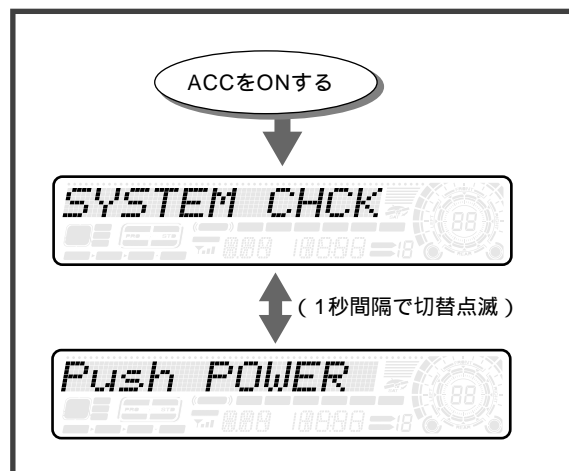


スローコンソールの正面イラストは省略しています。



## ■ 各部の名称とはたらき

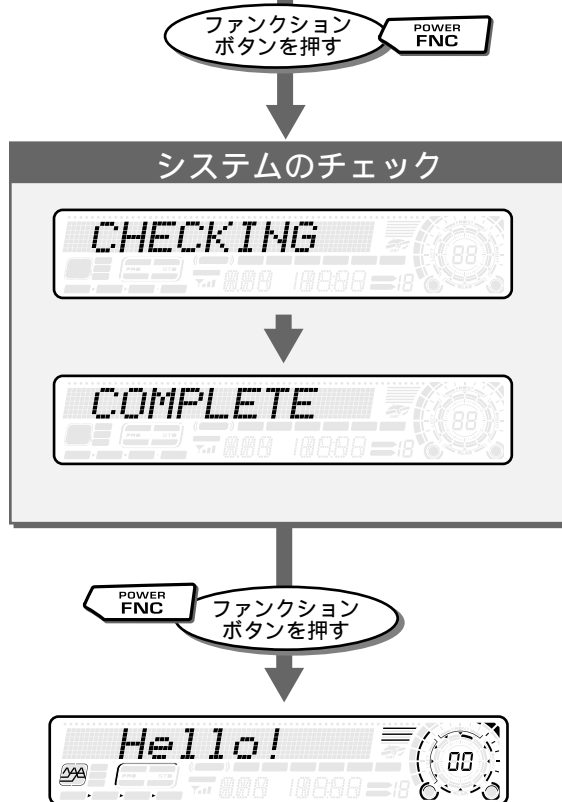
### システムチェック時のディスプレイ表示



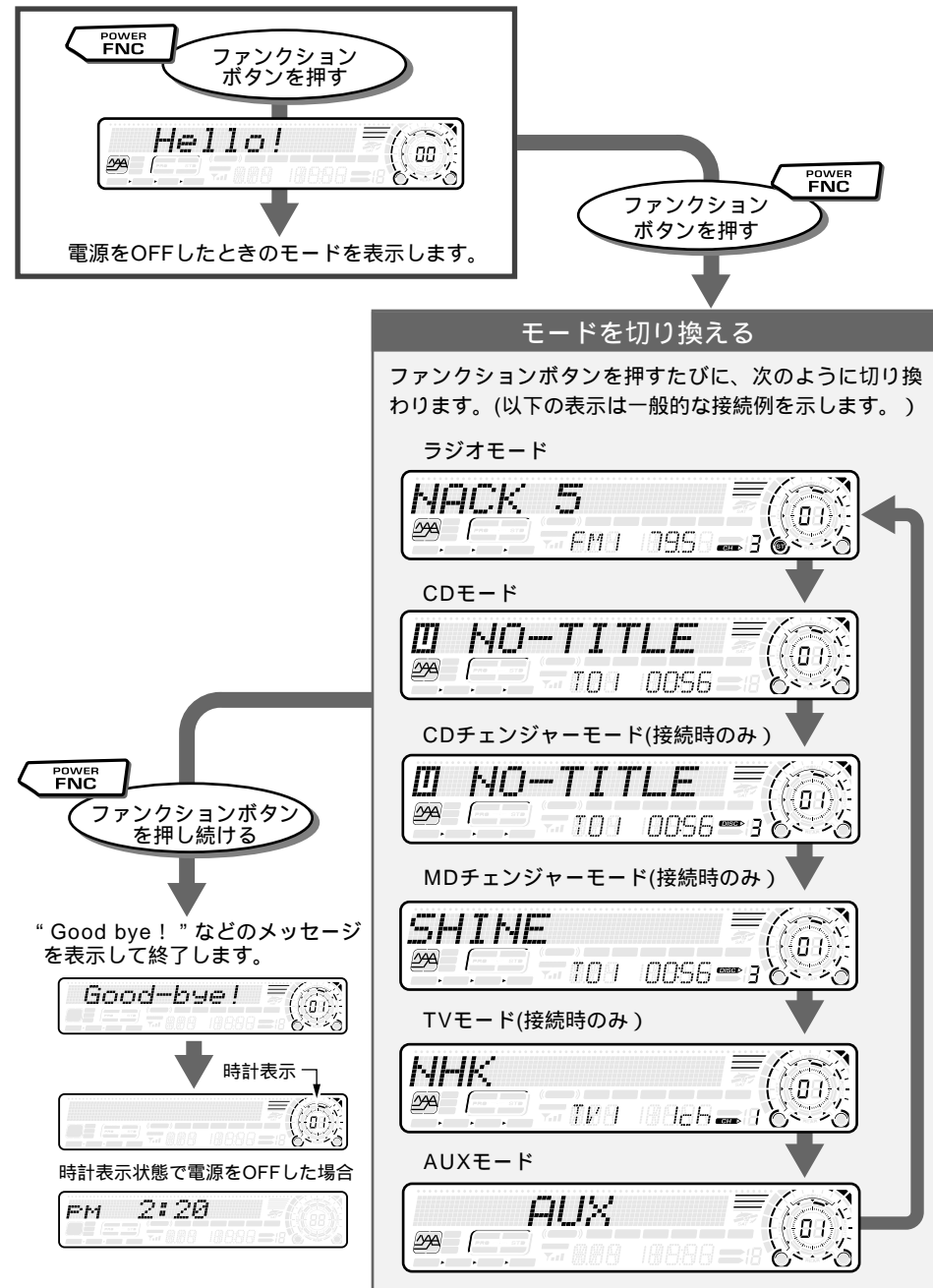
#### システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

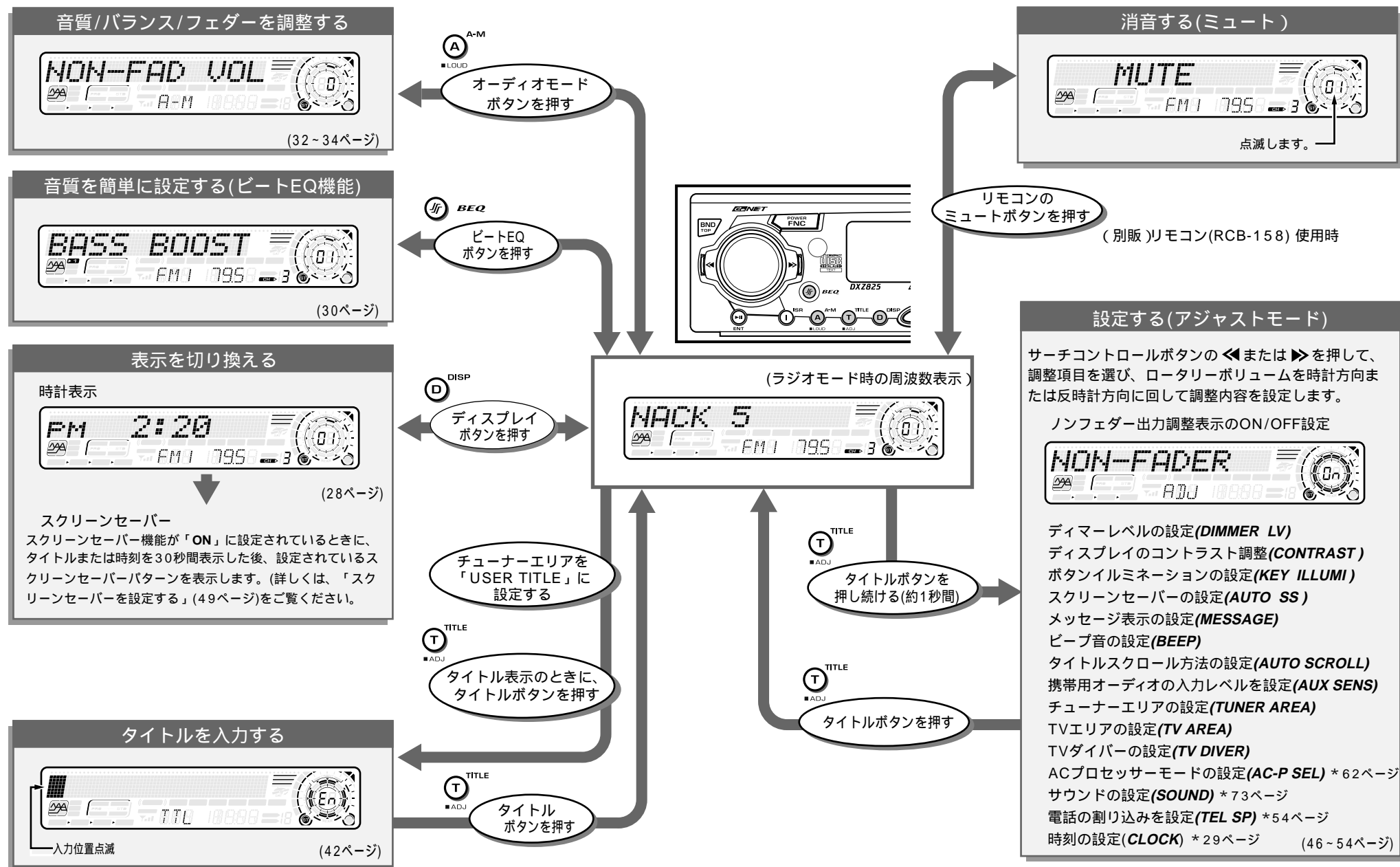


### 電源ON/OFF時のディスプレイ表示



## ■ 各部の名称とはたらき

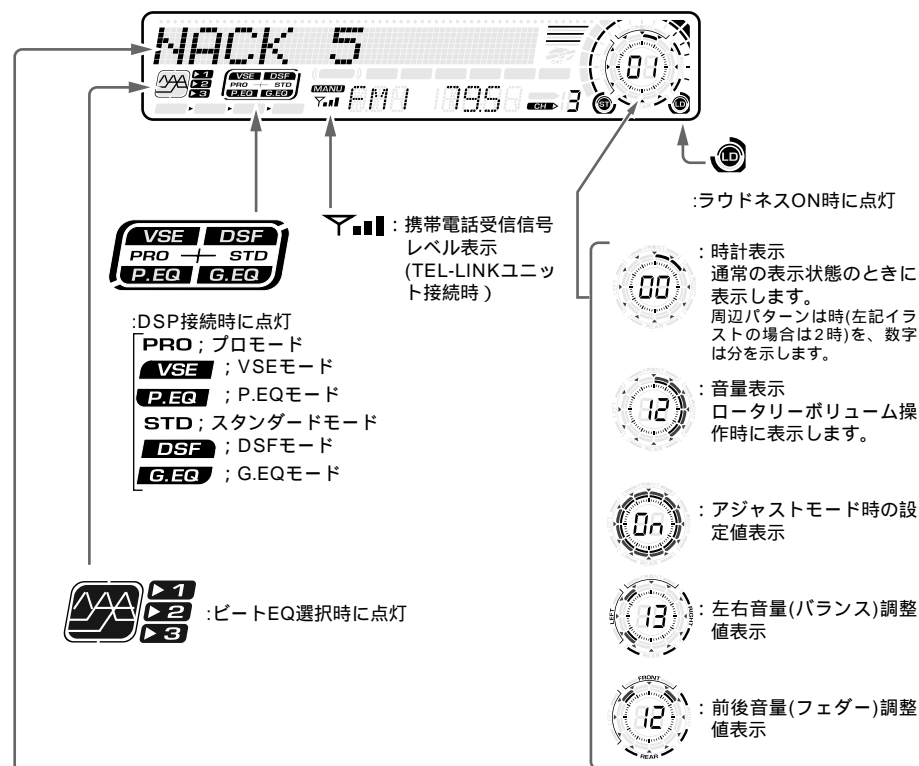
### 各種設定/調整時のディスプレイ表示



## 各部の名称とはたらき

### モード別ディスプレイ表示

#### 各モード共通の表示



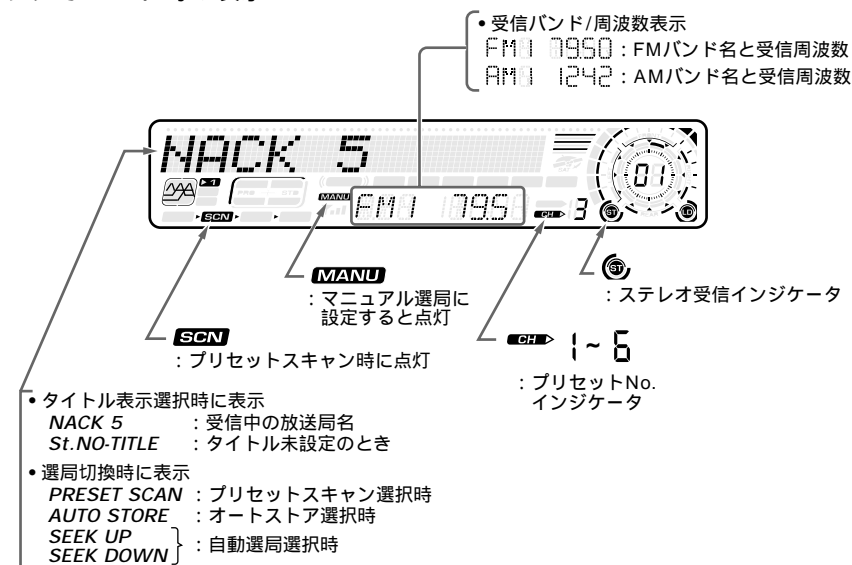
#### タイトル表示部

- モード表示(モード切替時に1秒間表示します。)

**TUNER** : ラジオモード  
**CD** : CDモード  
**CD A/C-1** : CDチェンジャーモード  
**MD A/C-1** : MDチェンジャーモード  
**DVD A/C** : DVDチェンジャーモード  
**TV** : TVモード  
**AUX** : AUXモード

- タイトル表示  
各モードにおける放送局名やディスクタイトル等を表示します。  
詳しくは、次ページ以降の各モード表示をご覧ください。
- スクリーンセーバー  
スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。  
詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(49ページ)をご覧ください。

#### ラジオモード時の表示



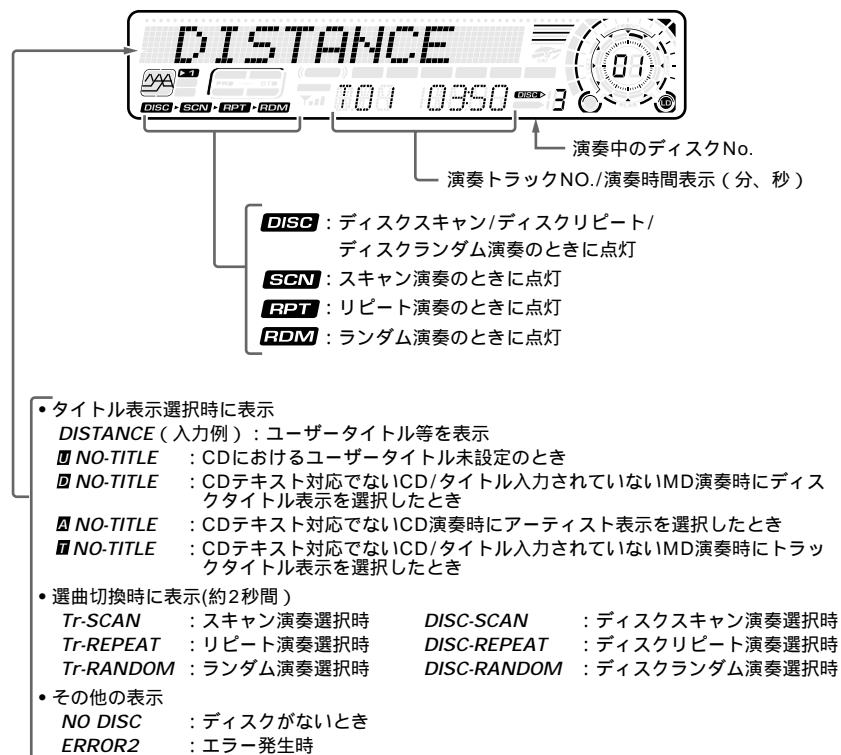
#### CDモード時の表示



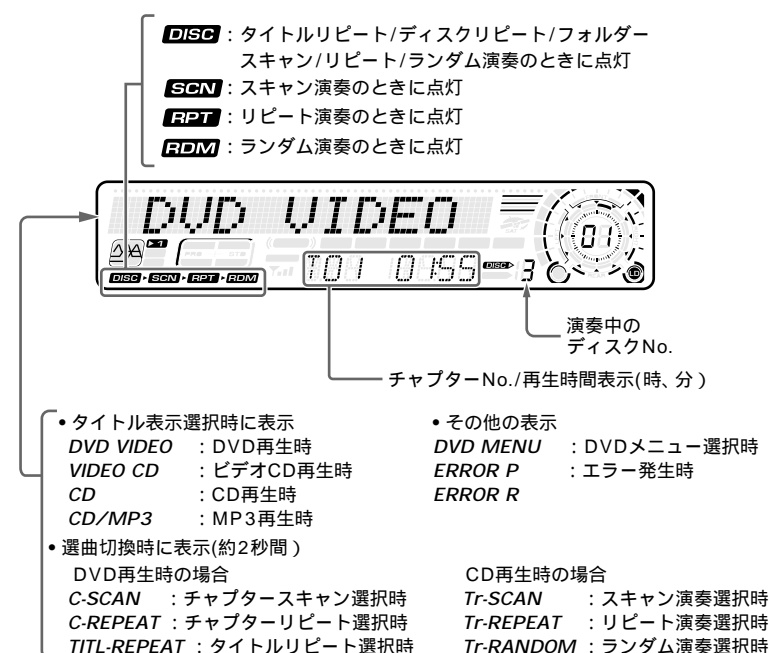
## 各部の名称とはたらき

### モード別ディスプレイ表示

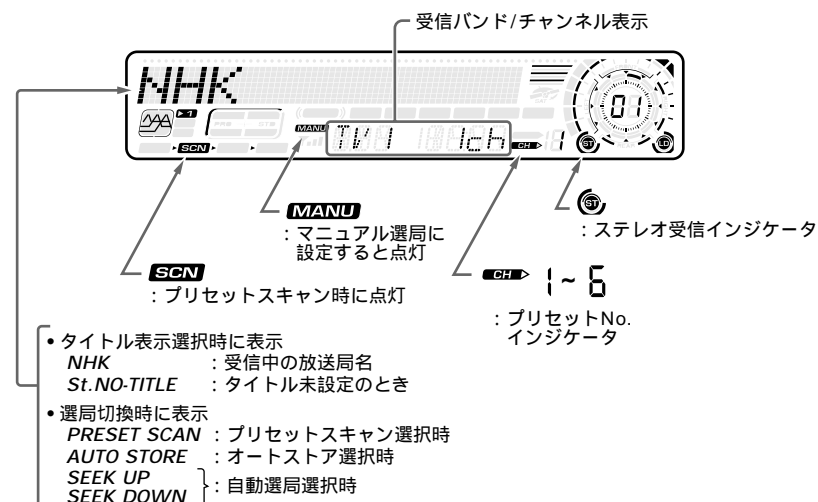
#### CD/MDチェンジャーモード時(接続時)の表示



#### DVDチェンジャーモード時(接続時)の表示

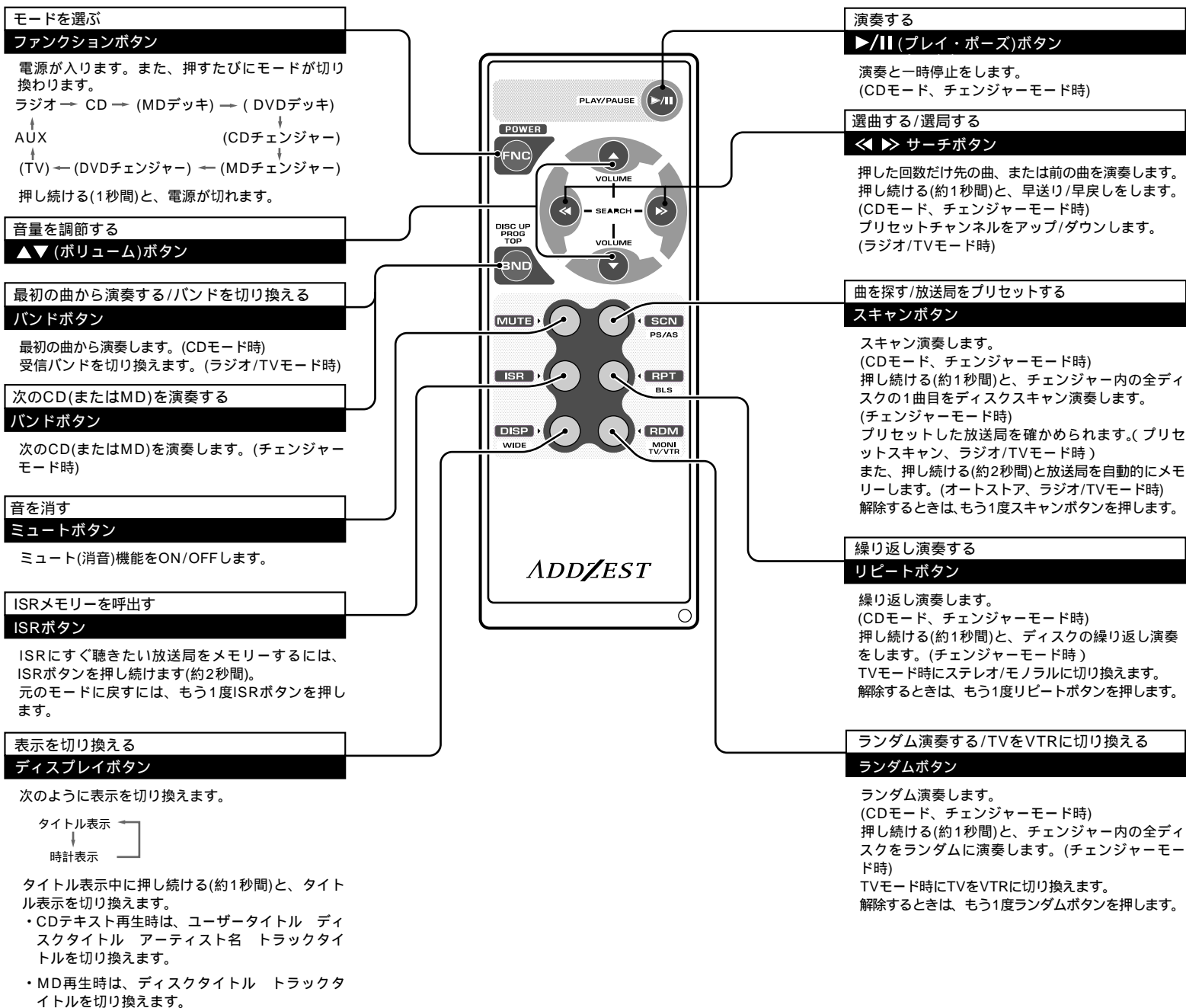


#### TVモード時(接続時)の表示



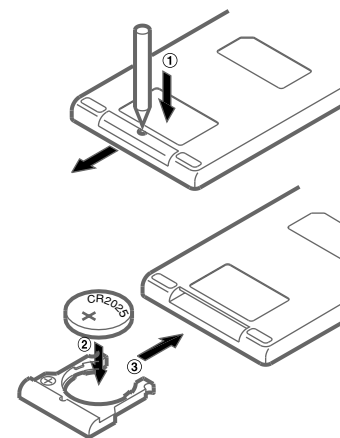
## 各部の名称とはたらき

### (別販)リモコン(RCB-158)の使いかた



#### 電池の入れかた

- ① リモコンを裏返して、先のとがった物を矢印の方向に押しながら、ふたを引き出します。
- ② 付属の電池(CR2025)を図のような向きにします。
- ③ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



#### 警告

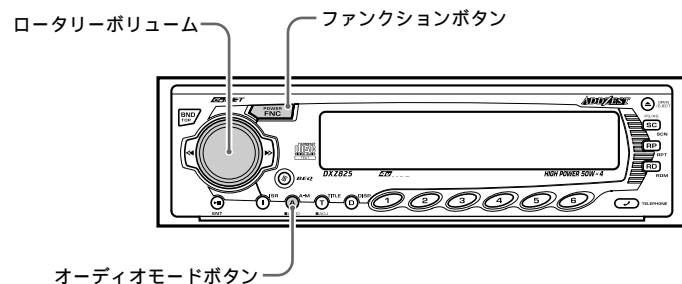
事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

#### 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・指定電池以外は使用しない。
- ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

# 基本の操作



## 電源を入れる

### システムチェックついて...

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れたとディスプレイに“SYSTEM CHCK”が表示されますので、ファンクションボタンを押してください。本機の内部で、システムチェックが始まります。システムチェックが終わると、電源OFFの状態になりますので、もう一度ファンクションボタンを押してください。(詳しくは16ページをご覧ください。)

## 1 ファンクションボタンを押す



前回の操作終了時のモードが表示されます。

### ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

### 電源を切るときは...

ファンクションボタンを押し続けてください。(約1秒間)

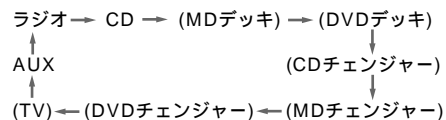
時刻の設定は、29ページをご覧ください。

## モードを選ぶ

## 1 ファンクションボタンを押す



押すたびに、次のように切り換わります。



・接続していない機器のモードは表示されません。

## 音量を調節する

- 1 ロータリーボリュームを押して、ツマミを引き出します。
- 2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回す



調整値を次のように表示します。



注意  
運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

## ラウドネスをON/OFFする

小音量でお聴きになるときには...  
小音量でお聴きになるときには、低音を強調するラウドネスの自然な音質をおすすめします。

- 1 オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)



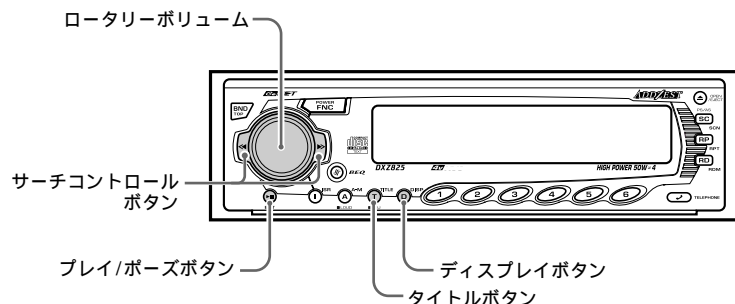
ONになると、「A」が点灯してラウドネスの効いた音になります。

ラウドネスをOFFにするには...  
もう1度押し続けます(約1秒間)。

### ご注意

別販のDSP(DPH910)を使用する場合、オートラウドネス機能に切り換わります。この機能はラウドネス効果とは異なる機能です。オートラウドネスについての詳細は、“オートラウドネス機能のON/OFF”(73ページ)の項をご覧ください。

## ■ 基本の操作



### 表示を切り換える

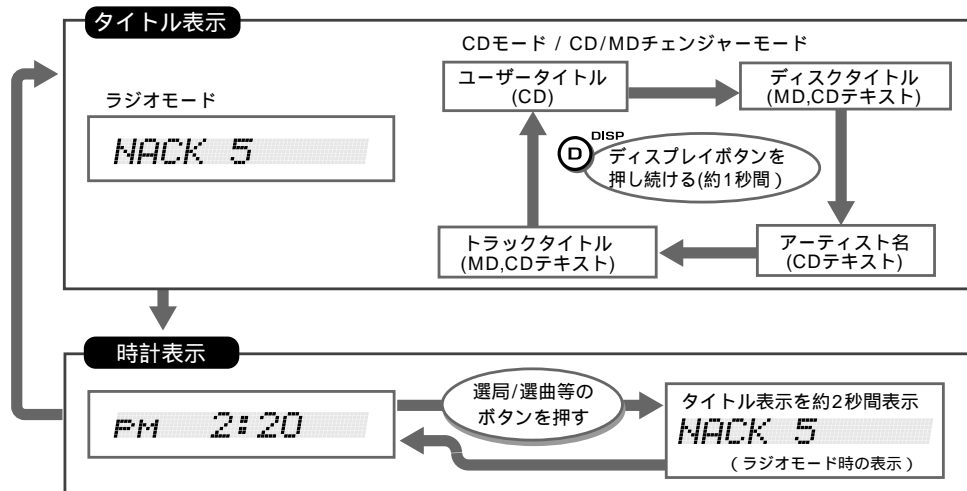
#### 1 ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ



押すたびに、次のように切り換わります。

#### ご注意

・電源をOFFにした状態で時間表示をするときは、ディスプレイボタンを押して、時計表示にしてから電源をOFFにしてください。(17ページ参照)



#### スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「ON」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を一定時間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは49ページをご覧ください。

### 時刻を合わせる

#### 時計表示について...

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。

時計は12時間表示です。

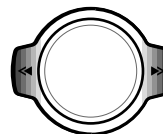
・ナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから送られてくるため、時刻の調整はできません。

#### 1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「NON-FADER」を表示します。

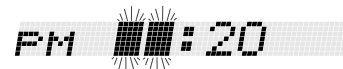
#### 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「CLOCK」を選ぶ



#### 3 プレイ/ポーズボタンを押す

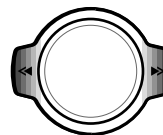


調整時点(「PM 2:20」等)の時刻を表示し、時刻設定モードになります。



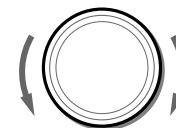
・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

#### 4 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、時または分を選ぶ



点滅している項目が調整できます。

#### 5 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、時刻を合わせる



#### 6 プレイ/ポーズボタンを押す



「ピー」と鳴って、時刻が設定されます。

#### ご注意

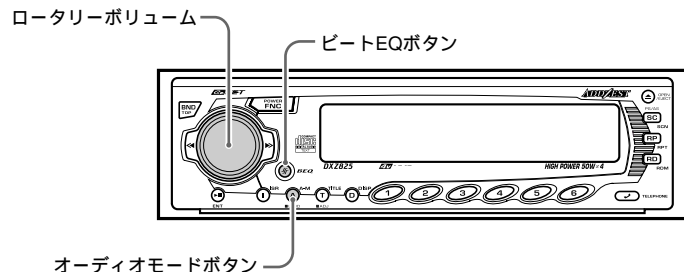
・電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。

・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう1度、時刻合わせをしてください。

#### 7 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



## ■ 基本の操作



### 音質を簡単に設定する(ビートEQ機能)

#### ビートEQ機能について...

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してください。

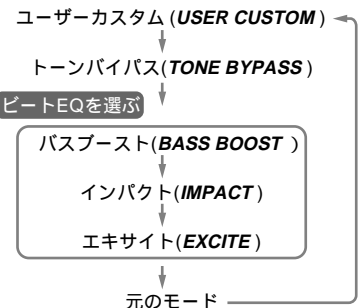
- BASS BOOST** : 低音を重視したサウンド  
**IMPACT** : 低音と高音を強調したサウンド  
**EXCITE** : 低音と高音を更に強調したサウンド

初期設定は「**USER CUSTOM**」です。

- 1 ビートEQボタンを押して、「**BASS BOOST**」「**IMPACT**」「**EXCITE**」の中からお好みの音質を選ぶ



ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



#### ご注意

- ・ビートEQ機能を設定すると、バス、ミッド、トレブルの音質調整ができなくなります。
- ・別販のDSP(DPH910)を接続したときは「G.EQの操作」(66ページ)で調整してください。

#### ユーザーカスタムについて... (USER CUSTOM)

ユーザーカスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。「音質を調整する(バス/ミッド/トレブル)」(32ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

#### トーンバイパスについて... (TONE BYPASS)

トーンバイパスは、バス/ミッド/トレブルの機能を無効にします。原音のまま、お聴きになりたいときにご使用ください。

### ビートEQ量を調整する

#### ご注意

この機能は、ビートEQ機能を**BASS BOOST**(バスブースト)**IMPACT**(インパクト)または**EXCITE**(エキサイト)に設定しているときに調整できます。

- 1 オーディオモードボタンを押して、ビートEQ調整項目(**BASS BOOST**/**IMPACT** / **EXCITE**)を選ぶ



オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に押して、ビートEQ量を調整する



- ・調整範囲は、-3 ~ +3です。調整量は次のように表示されます。



- 3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す



### トーンバイパスを設定する

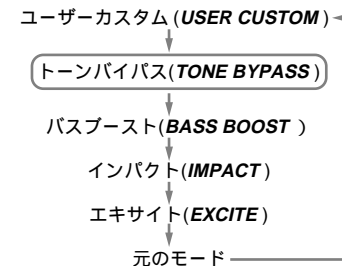
#### トーンバイパスについて...

トーンバイパスは、バス/ミッド/トレブルの機能を無効にします。原音のまま、お聴きになりたいときにご使用ください。

- 1 ビートEQボタンを押して、「**TONE BYPASS**」を選ぶ

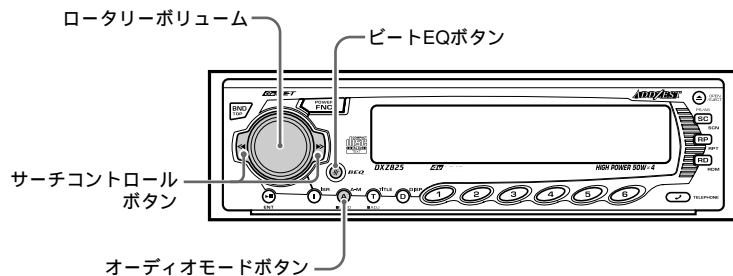


ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。





## ■ 基本の操作



### ノンフェダー出力の音量を調整する

この機能は、ノンフェダー出力表示が「ON」のときに調整できます。設定のしかたは、「ノンフェダー出力調整表示のON/OFFを設定する」(47ページ)をご覧ください。  
初期設定は「0」です。

- オーディオモードボタンを押して、「NON-FAD VOL」を選ぶ



- ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して出力音量を調整する



- 設定範囲は -6 ~ +6 です。調整量は次のように表示されます。



- オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



### 音質を調整する(バス/ミッド/トレブル)

#### ご注意

この機能は、ビートEQ機能がユーザーカスタム(USER CUSTOM)のときに設定できます。

- ビートEQボタンを押して、「USER CUSTOM」を選ぶ



- オーディオモードボタンを押して、調整項目「BASS ◀GAIN ▶」を選ぶ



オーディオモードボタン押すたびに、次のように切り換わります。

ノンフェダー出力調整(NON-FAD VOL)

調整項目を選ぶ

バス(低音域)調整(BASS ◀GAIN ▶)  
ミッド(中音域)調整(MID ◀GAIN ▶)  
トレブル(高音域)調整(TREB ◀GAIN ▶)

バランス調整(BALANCE)

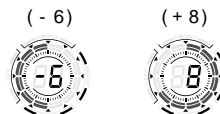
フェダー調整(FADER)

元のモード

- ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回してゲインを調整する

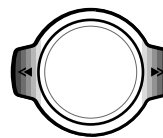


- BASS(低音域)調整範囲は、-6 ~ +8 です。調整量は次のように表示されます。

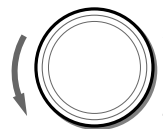


- MID(中音域)、TREB(高音域)調整範囲は、-6 ~ +6 です。

- サーチコントロールボタンの◀◀または▶▶を押して、「◀F」(周波数)または「◀Q」(Qカーブ)を選ぶ



- ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して周波数またはQカーブを調整する



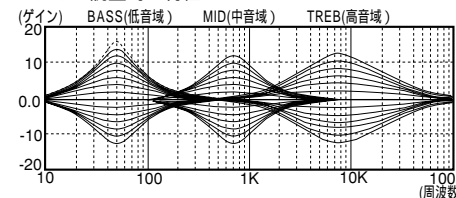
- BASS(低音域)  
周波数(F) : 50Hz, 80Hz, 120Hz  
Qカーブ(Q) : 1, 1.25, 1.5, 2
- MID(中音域)  
周波数(F) : 700Hz, 1kHz, 2kHz  
Qカーブ(Q) : 1.5, 2
- TREB(高音域)  
周波数(F) : 8KHz, 12kHz

- オーディオモードボタンを押して、他の調整項目「MID ◀GAIN ▶」等を選び、手順3 ~ 5を繰り返して調整する

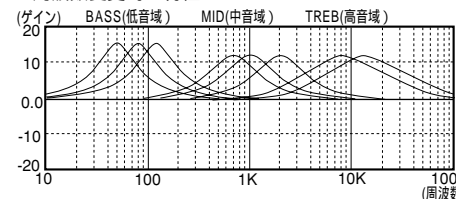


次の特性図表を参考にバス、ミッドおよびトレブルを調整し、好みの音質に調整してください。

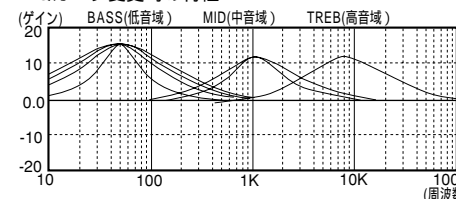
#### ゲイン調整時の特性



#### 周波数変更時の特性



#### Qカーブ変更時の特性

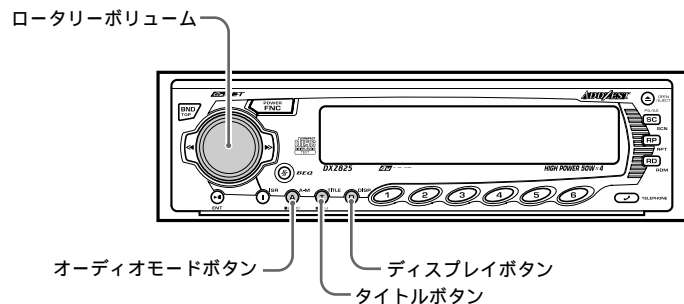


Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

- オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



## ■ 基本の操作



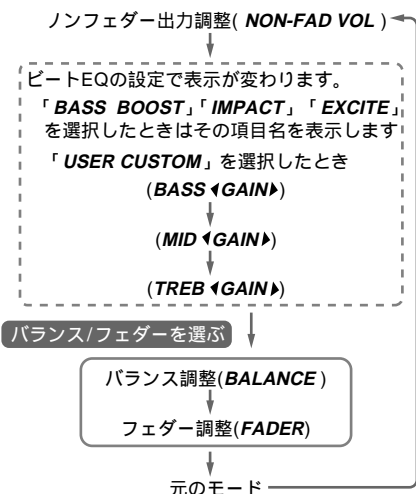
### バランス/フェダーを調整する

別販のDSP(DPH910)を接続したときは、  
「DSFの操作」(63ページ)で調整してください。

#### 1 オーディオモードボタンを押して、 「BALANCE」または「FADER」を選ぶ

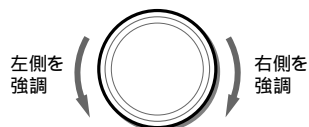


押すたびに、次のように切り換わります。



#### 2 ロータリーボリュームを時計方向または 反時計方向に回して調整する

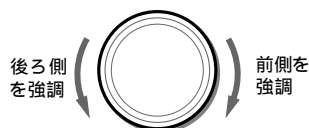
バランスの調整(左右のスピーカ音量)



- 調整範囲は、L13～R13です。調整量は次のように表示されます。



フェダーの調整(前後のスピーカ音量)



- 調整範囲は、F12～R12です。調整量は次のように表示されます。



### 3 オーディオモードボタンを数回押して、 元のモードに戻す



### タイトル表示を切り換える

タイトル表示について...

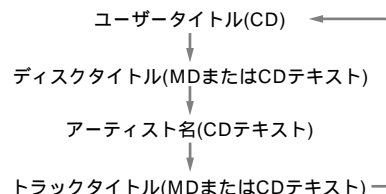
CDモード/CDチェンジャーモードにおける  
CDテキスト再生時、MDチェンジャーモード  
におけるMD再生時に、ディスクに登録されて  
いるディスクタイトル、トラックタイトル、  
アーティスト名(CDテキストのみ)をディスプ  
レイに表示します。

#### 1 タイトルが表示されているときに、ディス プレイボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のよ  
うに表示が切り換わります。

- CDモード/CD/MDチェンジャーモード



- CDテキスト対応でないCDの場合は、  
ユーザータイトル: **NO-TITLE**  
ディスクタイトル: **NO-TITLE**  
アーティスト名: **NO-TITLE**  
トラックタイトル: **NO-TITLE**  
と表示されます。

- タイトルが入力されていないMDの場合は、  
ディスクタイトル: **NO-TITLE**  
トラックタイトル: **NO-TITLE**  
と表示されます。

### タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて...

CDモード/CDチェンジャーモードにおける  
CDテキスト再生時、MDチェンジャーモード  
におけるMD再生時に、ディスクに登録されて  
いるタイトルがスクロールできます。  
スクロールの設定がONのときは、自動でスク  
ロールし続けます。設定については「タイトル  
スクロール方法を設定する(AUTO SCROL)」  
(51ページ)をご覧ください。

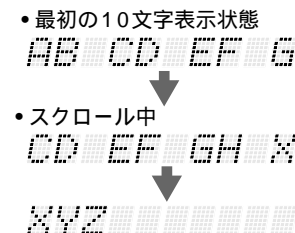
#### 1 スクロール方法の設定がOFFのときは タイトルが表示されているときに、タ イトルボタンを押す



タイトルが左にスクロールします。

タイトル表示例

タイトル名が **AB CD EF GH XYZ** の場合

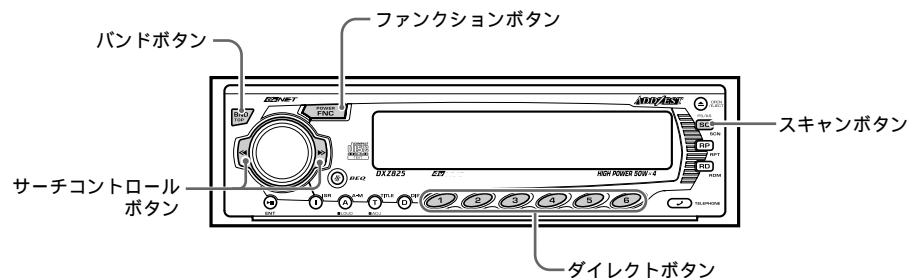


\* タイトルの末尾まで表示すると、  
最初の10文字表示に戻ります。

#### ご注意

CDモード、CDチェンジャーモードで  
「USER TITLE」を選択している場合は、タ  
イトルスクロールはしません。このときタイ  
トルボタンを押すと、タイトル入力モードに  
なりますので、ご注意ください。

# ラジオ放送を聴く

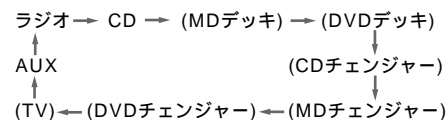


## ラジオモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



押すたびに、次のようにモードが切り換わります。



・接続していない機器のモードは表示されません。

### ご注意

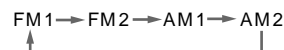
受信地域内の放送局名を表示させたい場合は、「チューナーエリアを設定する」(52ページ)で、受信エリアを設定してください。

## 受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押して、受信バンドを切り換える



押すたびに、バンドが切り換わります



## 自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

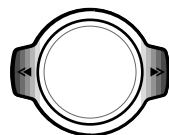
## 手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、放送のあるところに合わせる



手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

- ・ステップ選局のときは、サーチコントロールボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- ・クイック選局のときは、サーチコントロールボタンを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

## プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタン(1~6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

### ご注意

ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

## プリセットメモリーする

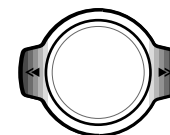
プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

- 1 バンドボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ



- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)



押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

## 自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

- 1 スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



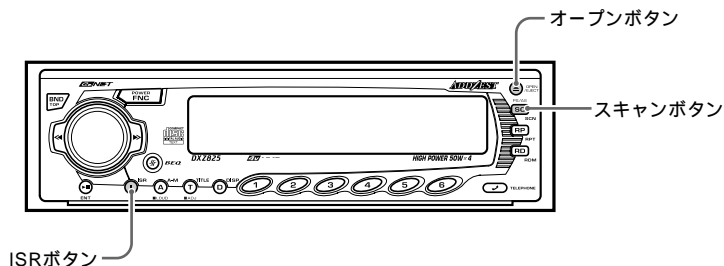
タイトル表示部に「AUTO STORE」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- ・自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

### ご注意

- ・自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- ・登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

## ラジオ放送を聴く



### 放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

#### 1 スキャンボタンを押す



タイトル表示部に「**PRESET SCAN**」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

#### ご注意

スキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには...

もう1度、スキャンボタンを押してください。

スキャンボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

### 特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について...

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。(初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています)

#### 1 ISRボタンを押す



ディスプレイに「**ISR 1620**」を表示します。

- ユーザータイトルが設定されていないときは、「**St.NO-TITLE**」を表示します。

元のモードに戻すには...

もう1度ISRボタンを押してください。

ISRにメモリーするには...

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。

ISRにメモリーされます。

## CDを聴く

### CDを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について...

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

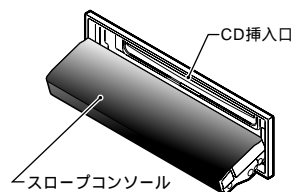
#### 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

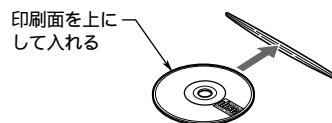
#### 1 オープンボタンを押す



スロープコンソールが開きます。



#### 2 CD挿入口にCDを入れる



CDを入れると、自動的にスロープコンソールが閉じ、演奏が始まります。

- 印刷面のないICDやCD-ROMは、本機では使用できません。
- CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。

#### ご注意

ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

シングルCD(8cmCD)について...

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

### CDを取り出す

バックアッププロジェクト機能について...

本機の電源が入っていない状態からでもオープンボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

#### 1 オープンボタンを押す

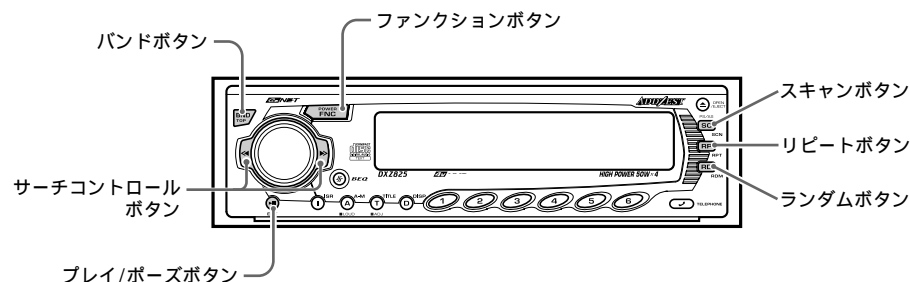


スロープコンソールが開いて、CDがイジェクトされます。

- イジェクトされたCDは、必ず取り出していただき、CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれポーズ状態になります。(オートリロード機能) プレイ/ポーズボタンを押すと演奏が始まります。
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出していただきます。

#### ご注意

イジェクトしたままの状態から無理にディスクを押し込むと、ディスク表面にキズを付ける恐れがありますので、一度ディスクを取り出してから挿入してください。

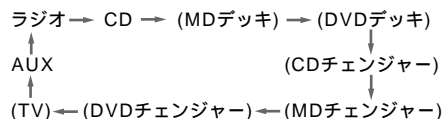


## すでに入っているCDを聴く

- 1 ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ



CDモードになると、自動的に演奏が始まります。



・接続していない機器のモードは表示されません。

### MDデッキ接続時の操作について...

本機にMDデッキを接続したときは、再生モードをMDデッキモードに切り換えることにより、CDと同様の操作でMDを聴くことができます。

## 曲を選ぶ

- 1 次の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの▶を押す
- 2 前の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの◀を2回押す



▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。  
◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

・曲の頭部分を演奏しているときにサーチコントロールボタンの◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

## 早送り/早戻しする

- 1 早送りするときは、サーチコントロールボタンの▶を押し続ける
- 2 早戻しするときは、サーチコントロールボタンの◀を押し続ける



## 演奏を止める(一時停止する)

- 1 プレイ/ポーズボタンを押す



タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

## 最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について...

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

- 1 バンドボタンを押す



最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

## 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

- 1 スキャンボタンを押す



ディスプレイに「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-SCAN」を表示して、スキャン演奏をします。

・スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「SCN」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

## 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

- 1 リピートボタンを押す



ディスプレイに「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-REPEAT」を表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

## ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

- 1 ランダムボタンを押す



ディスプレイに「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-RANDOM」を表示して、ランダム演奏をします。

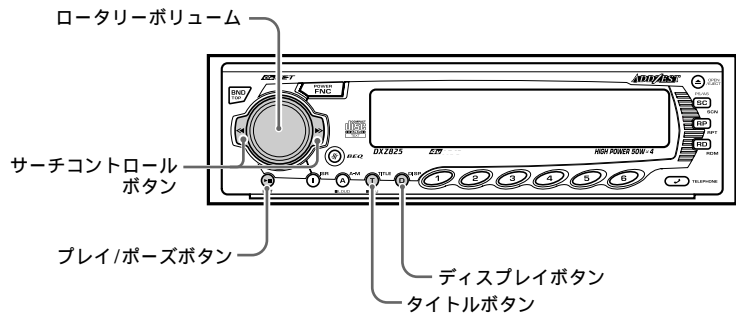
ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。



## ■ タイトルをつける



## タイトルを入力する

## タイトル入力について...

ラジオやTVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャーモード時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ・ラジオ/TVモード : 30タイトル
- ・CDモード : 50タイトル
- ・CDチェンジャーモード
- DCZ625 : 60タイトル
- CDR1255z : 50タイトル

**1** ラジオ/TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「USER TITLE」に設定する

- ・ラジオ/TVモードのエリアを「USER TITLE」に切り換えるには、「チューナーエリアを設定する」(52ページ)「TVエリアを設定する」(53ページ)をご覧ください。

## 2 タイトルをつけたらラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

### 3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする



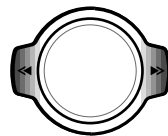
- ・CDモード、CDチェンジャーモードの場合は、ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)ユーザータイトルに切り換えてください。  
(35ページ参照)

## 4 タイトルボタンを押す

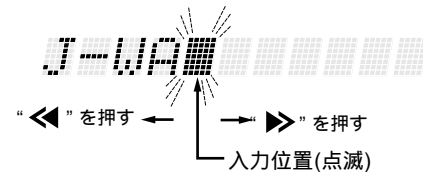


タイトル入力モードになります。

## 5 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、入力位置を決める



点滅している文字位置が左右に移動します。



- ・入力できる文字数は、10文字です。

**ご注意**

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

## 6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を選ぶ

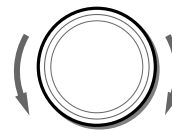


ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り替わります。

アルファベットの大文字 ←  
↓  
アルファベットの小文字  
↓  
数字/記号  
↓  
カタカナ

- アルファベット大文字  
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U  
V W X Y Z
- アルファベット小文字  
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w  
x y z
- 数字/記号  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9  
.,':;! ? α \* # \$ % & ¥ + - × / = ( ) < >  
" → ↑ ↓ ↖ ↗ ♂ ♀ ★ ◆ ♠ ♡ ♢ ♣
- カタカナ  
アイエオコカクケコサシスセソタチツテト  
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユオリ  
ルレロワンアイエオツヤユヨ。ー

**7** ローターリーボリウムを時計方向または反時計方向に回して、入力文字を決める



**8** 手順5、6、7を繰り返して、タイトルを入力する

- ・ダイレクトボタンの1を押すと、入力中のタイトルを右側から表示または左側から表示します。
- ・バンドボタンを押すと、入力中のタイトルが全て消えます。

**9** プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「**TITLE MEMO**」を表示し、タイトルがメモリーされます。

タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには...

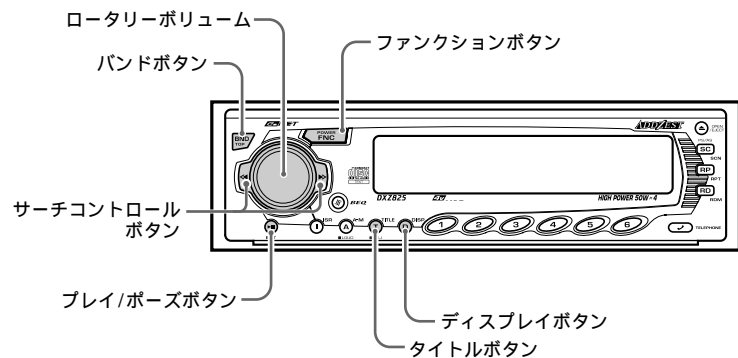
ディスプレイボタンを押してください。



タイトルメモリーがいっぱいになると...

- ラジオ局タイトルの場合  
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合  
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

## ■ タイトルをつける



### イージーインプットをする

イージーインプットについて...

本機は、チューナー/TVエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「USER TITLE」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

#### ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

- 1 ラジオまたはTVモードにしてタイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



ディスプレイに「NON-FADER」を表示します。

- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「TUNER AREA」または「TV AREA」を選ぶ

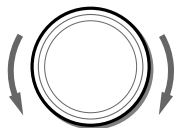


- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



設定されているエリア名を表示します。

- 4 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



・受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する」(52ページ)「TVエリアを設定する」(53ページ)をご覧ください。

- 5 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



ビーと鳴って、「TUNER AREA」または「TV AREA」表示に戻ります。

- 6 タイトルボタンを押して元のモードに戻る



イージーインプットしたタイトルを表示します。

### タイトルを削除する

- 1 ファンクションボタンを押してモードを選ぶ(ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー)



- 2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する

- 3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする



- 4 タイトルボタンを押す



表示されているタイトルの1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。

- 5 バンドボタンを押す



タイトルが消えます。

- 6 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



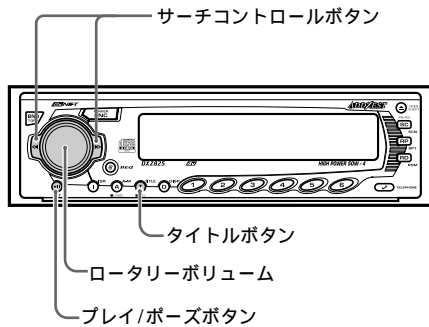
タイトルが削除され、「St.NO-TITLE」(ラジオモード時)を表示します。

タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには...

ディスプレイボタンを押してください。



# 設定を変更する(アジャストモード)



## 設定項目を選ぶ

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



タイトル表示部に「NON-FADER」を表示して、アジャストモードになります。

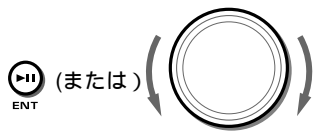
2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、設定する項目を選ぶ



・サーチコントロールボタンの◀または▶を押すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。

3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させ選ぶ

または、ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して設定する



元のモードに戻すには...

設定終了後に、タイトルボタンを押してください。

## アジャストモード設定項目

### NON-FADER

- ・ノンフェダー出力調整表示のON/OFF設定 (DSP未接続時)

### DIMMER LV

- ・ディマーレベルの設定

### CONTRAST

- ・ディスプレイのコントラスト調整

### KEY ILLUMI

- ・ボタンイルミネーションの設定

### AUTO SS

- ・スクリーンセーバーの設定

### MESSAGE

- ・メッセージ表示の設定

### BEEP

- ・ビープ音の設定

### AUTO SCROLL

- ・タイトルスクロール方法の設定

### AUX SENS

- ・携帯用オーディオ(AUX)の入力レベル設定

### TUNER AREA

- ・チューナーエリアの設定

### TV AREA

- ・TVエリアの設定 (TV接続時に表示)

### TV DIVER

- ・TVダイバーシティの設定 (TV接続時に表示)

### AC-P SEL

- ・ACプロセッサの設定 (DSP接続時に表示、62ページ参照)

### SOUND

- ・サブウーファー、オートラウドネス等の設定 (DSP接続時に表示、73ページ参照)

### TEL-SP

- ・電話の出力スピーカーを設定 (TEL-LINK 接続時に表示、54ページ参照)

### CLOCK

- ・時刻の設定 (29ページ参照)

## ノンフェダー出力調整表示のON/OFFを設定する(NON-FADER)

ノンフェダー出力表示について...  
ノンフェダー出力のレベルを調整しないときは、「NON-FAD VOL」表示を消すことができます。

・初期設定は、「On」です。

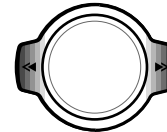
・レベル調整表示を「oF」(OFF)に設定してもノンフェダー出力から信号が出力されます。

・DSP接続時は設定できません。

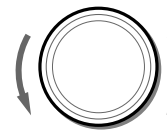
1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「NON-FADER」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



・On(ON) : オーディオモードボタンを押したときに、「NON-FAD VOL」項目が表示され、出力レベルを調整することができます。

・oF(OFF) : オーディオモードボタンを押したときに、「NON-FAD VOL」項目が表示されません。



4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



## ディマーレベルを設定する(DIMMER LV)

ディマーについて...

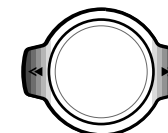
車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイの照明を減光させることができます。

・初期設定は、「3」です。

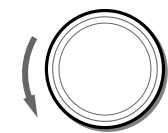
1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「DIMMER LV」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、ディマーレベルを設定する



ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回すたびに、「oF(OFF)」「1」~「5」と切り換わります。



4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る





## ■ 設定を変更する(アジャストモード)

### ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)

コントラスト機能について...  
ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

・初期設定は、「8」です。

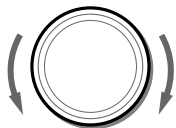
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「CONTRAST」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、コントラストを調整する



コントラストの調整範囲は、「1」~「18」の範囲です。ディスプレイ表示の変化を見ながら設定してください。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



### ボタンイルミネーションを設定する(KEY-ILLUMI)

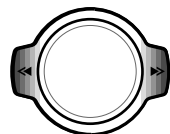
ボタンイルミネーションについて...  
お好みに合わせてボタン照明色を変更することができます。

・初期設定は、「GREEN(緑)」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする

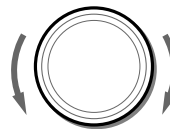


- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「KEY ILLUMI」を選ぶ



ディスプレイに「ILLM GREEN」または「ILLM RED」を表示します。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、イルミネーションの色を選ぶ



イルミネーションの色は、緑(GREEN)と赤(RED)です

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



### スクリーンセーバーを設定する(AUTO SS)

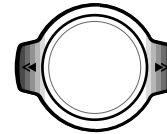
スクリーンセーバーについて...  
4種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。

・初期設定は、「SS RANDOM」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



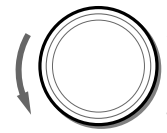
- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「AUTO SS」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、パターン名を選ぶ



スクリーンセーバーは右図の4種類です。  
パターン名を選ぶと、そのパターンをデモ表示します。

- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

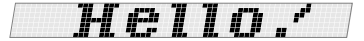


ランダム(SS RANDOM)

(パターン1~3をランダムに表示)

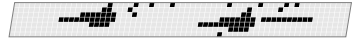
パターン3(SS PTN3)

いろいろな文字がランダムに変化します。



パターン2(SS PTN2)

ジェット機を表示します。



パターン1(SS PTN1)

いろいろな文字やイラストがランダムに変化します。



オフ(SS OFF)

(パターンは表示されません。)

## ■ 設定を変更する(アジャストモード)

### メッセージを表示させる (MESSAGE)

メッセージ表示機能について...

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。

本機では、お好みに合わせてこれらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

- ・初期設定は、「On」です。
- ・設定をONにすると電源を入れたときに「Hello!」電源を切ったときに「Good-bye!」を表示します。

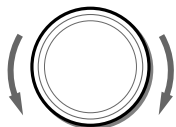
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「MESSAGE」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



・ON/OFFは次のように表示します。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



### ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)

ピープ音について...

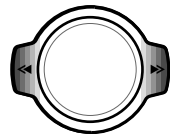
操作時になる「ピッ」という音をピープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

- ・初期設定は、「On」です。

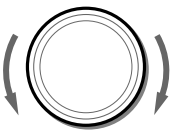
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「BEEP」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



・ON/OFFは次のように表示します。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



### タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)

タイトルスクロールについて...

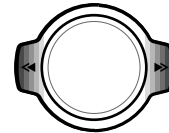
タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

- ・初期設定は、「On」です。

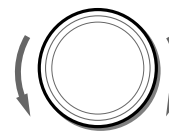
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「AUTO SCROLL」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



・On(ON) : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。

・oF(OFF) : タイトルボタンを押すとスクロールします。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



### 携帯用オーディオ(AUXモード)の入力レベルを設定する(AUX SENS)

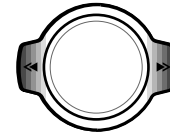
本機に接続された市販のヘッドホンステレオの入力レベルを設定します。

- ・初期設定は、「MID」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする

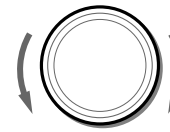


- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「AUX SENS」を選ぶ



「AUX SENS」を表示した後、「SENS MID」を表示します。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「HIGH」、「MID」または「LOW」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



# ■ 設定を変更する(アジャストモード)

## チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)

チューナーエリアについて...  
チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。  
・初期設定は、「コウイキ カントウ(広域 関東)」です。  
・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」にしてください。  
また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(42ページ)」をご覧ください。

イージーインプット機能について...  
チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したチューナーエリアの放送局名が「**USER TITLE**」メモリーへ登録されます。

ロータリーボリュームを回すたびに、エリアが切り換わります。  
エリアは次の11種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間) アジャストモードにする



2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「**TUNER AREA**」を選ぶ

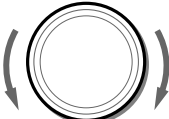


3 プレイ/ポーズボタンを押す



設定されているエリア名を表示します。

4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、チューナーエリアを選ぶ



5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



## TVエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて...  
テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)  
・初期設定は、「カントウ(関東)」です。  
・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」にしてください。  
また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(42ページ)」をご覧ください。

イージーインプット機能について...  
テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名が「**USER TITLE**」メモリーへ登録されます。

ロータリーボリュームを回すたびに、エリアが切り換わります。  
エリアは次の22種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間) アジャストモードにする



2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「**TV AREA**」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



設定されているエリア名を表示します。

4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、TVエリアを選ぶ



5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



本機  
の  
操  
作

## ■ 設定を変更する(アジャストモード)

### TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティについて...

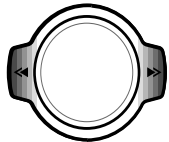
TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

- ・初期設定は「**On**」です。
- ・TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「**oF**」(OFF)に設定し直してください。

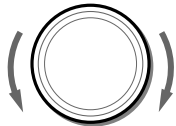
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「**TV DIVER**」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「**On**」(ON)または「**oF**」(OFF)を選ぶ



・ON/OFFは次のように表示します。

(ON)



(OFF)



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



### 電話の割り込みを設定する(TEL-SP)

電話の割り込み機能について...

本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニット(JCH540Z)を接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声聞くことができます。

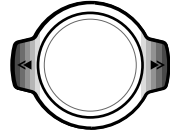
さらに、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

- ・初期設定は「**LEFT**」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする

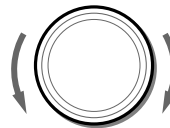


- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「**TEL-SP**」を選ぶ



「**TEL-SP**」を表示した後、「**T-SP LEFT**」または「**T-SP RIGHT**」を表示します。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「**RIGHT**」または「**LEFT**」を選ぶ



回すたびに、「**T-SP LEFT**」と「**T-SP RIGHT**」が切り換わります。

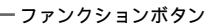
#### ご注意

ハウリングを防止するため、右ハンドル車の時は左スピーカー(LEFT)に、左ハンドル車の時には右スピーカー(RIGHT)に設定してください。

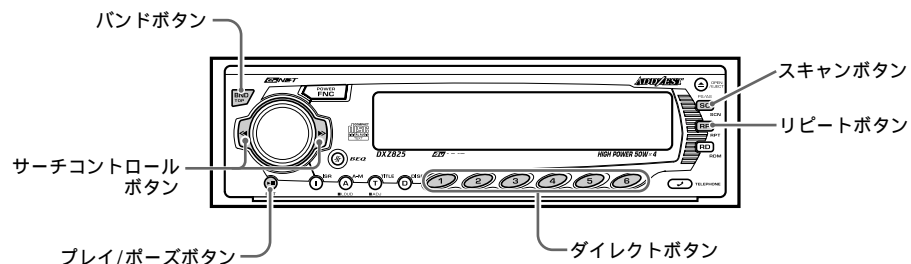
- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



## 外部機器の操作



## CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



### 聴きたいディスクを選ぶ

#### 1 ダイレクトボタン(1~6)を押す



または、バンドボタンを押す



ディスプレイのディスクNo.が点滅して、演奏をはじめます。

- MDまたはマガジンにディスクが入っていない場合は、そのダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のディスクNo.と同じダイレクトボタンを選んだときは、そのディスクの1曲目に戻って演奏します。

12枚CDチェンジャー接続時に、7~12のディスクを選ぶには...

ダイレクトボタン(1~6)を押し続け(約1秒間)てください。

### 曲を選ぶ

#### 1 次の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの▶を押す

#### 2 前の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの◀を2回押す



▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

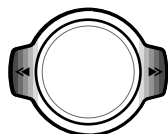
◀を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチコントロールボタンの◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

### 早送り/早戻しする

#### 1 早送りするときは、サーチコントロールボタンの▶を押し続ける

#### 2 早戻しするときは、サーチコントロールボタンの◀を押し続ける



### 演奏を止める(一時停止する)

#### 1 プレイ/ポーズボタンを押す



タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

### 最初の曲から聴く(トップ機能)

#### 1 1~6のディスクを演奏しているときは、演奏しているディスクと同じ番号のダイレクトボタン(1~6)を押す

7~12のディスクを演奏しているときは、演奏しているCDと同じ番号のダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約1秒間×12枚CDチェンジャー接続時)



- MDまたはマガジンにディスクが入っていないディスクNo.のダイレクトボタンを押しても受け付けません。

### 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

チェンジャー内のディスク全曲を約10秒間ずつ演奏します。

#### 1 スキャンボタンを押す



ディスプレイに「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-SCAN」を表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。ディスプレイの「SCN」が消えて、いま演奏している曲から演奏します。

### 聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について...

チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

#### 1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「DISC」と「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「DISC-SCAN」を表示してディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

ディスクスキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「DISC」と「SCN」が消えて、いま演奏しているディスクから演奏します。

### 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

#### 1 リピートボタンを押す



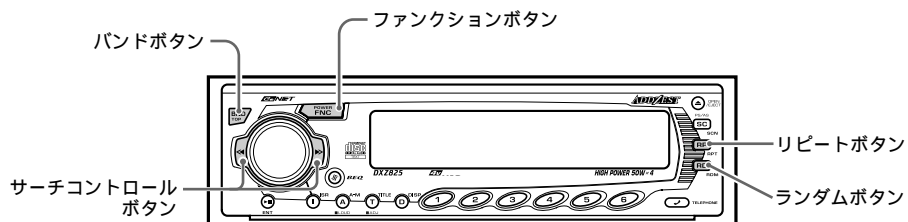
ディスプレイに「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-REPEAT」を表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消えて、通常の演奏になります。

## CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



### 1 枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について...  
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

#### 1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「**DISC**」と「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**DISC-REPEAT**」を表示して、ディスクリピート演奏をします。

ディスクリピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「**DISC**」と「**RPT**」が消えて、通常の演奏になります。

### ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...  
演奏中のディスクの全曲を順不同に演奏します。

#### 1 ランダムボタンを押す



ディスプレイに「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**Tr-RANDOM**」を表示して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

### 全ディスクの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について...  
チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

#### 1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「**DISC**」と「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**DISC-RANDOM**」を表示して、ディスクランダム演奏をします。

ディスクランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「**DISC**」と「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

## テレビを見る

TVチューナーコントロール機能について...

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。



**警告**  
運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

#### ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

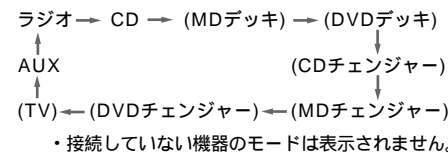
- ・TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(54ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- ・受信地域内の放送局を表示させたいときは、「TVエリアを設定する」(53ページ)で受信エリアを設定してください。

### TVモードを選ぶ

#### 1 ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



押すたびに、次のようにモードが切り換わります。



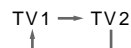
・接続していない機器のモードは表示されません。

### 受信バンドを切り換える

#### 1 バンドボタンを押してTV1またはTV2を選ぶ



押すたびに、バンドが切り換わります。



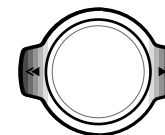
### 自動選局する(シーク選局)

#### 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「**MANU**」が消灯すると、自動選局ができます。

#### 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

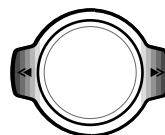
### 手動選局する(マニュアル選局)

#### 1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

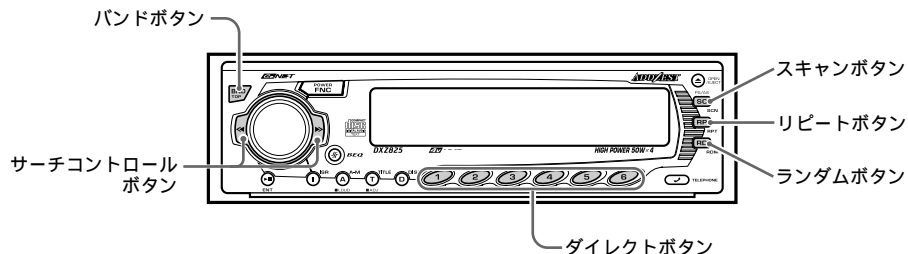


ディスプレイの「**MANU**」が点灯すると、手動選局ができます。

#### 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、放送のあるところに合わせる



## ■ テレビを見る



### プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタン(1~6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

#### ご注意

ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

### プリセットメモリーする

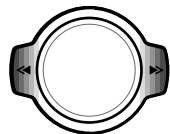
プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2 各6局、合計で12局です。

- 1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド(TV1またはTV2)を選ぶ



- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)



押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

### 自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について...

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

- 1 スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

・自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

#### ご注意

- ・自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- ・登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

### ステレオ/モノラル音声を切り換える

- 1 リピートボタンを押す



押すたびに、ステレオ音声(**STEREO**)とモノラル音声(**MONO**)を切り換えます。

### 主音声/副音声を切り換える

- 1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



押すたびに、主音声(**MAIN**)と副音声(**SUB**)を切り換えます。

### ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

- 1 TVモード時にランダムボタンを押す



タイトル表示部に「**VTR**」を表示し、TVモードからVTRモードに切り換わります。

・TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

TVモードに戻すには...

もう1度、ランダムボタンを押してください。

### 放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

- 1 スキャンボタンを押す



タイトル表示部に「**PRESET SCAN**」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

・メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局とはばして、次の放送局を受信します。

#### ご注意

スキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

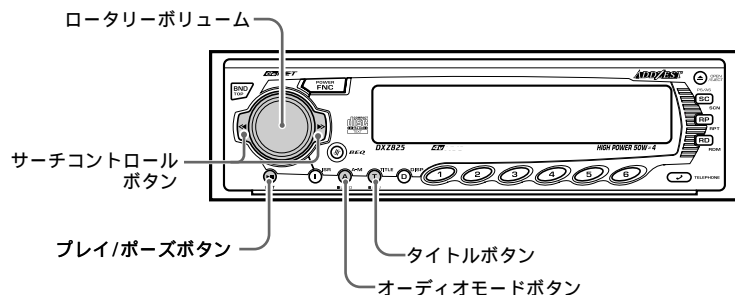
プリセットスキャンを解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。



# ACプロセッサのモードを切り換える



## モード選択について...

DSP(DPH910)接続時は、スタンダードモード STD またはプロモード PRO を選択してユーザーのレベルに合わせた音の調整、補正を行うことができます。

### スタンダードモード<STD>

DSFおよびG.EQによって音質、音場が調整できます。

### プロモード<PRO>

VSEおよびP.EQによって音質、音場が調整できます。

・初期設定は「STD」です。

## 1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「DIMMER LV」を表示します。

## 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「AC-P SEL」を選ぶ



## 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「STD」または「PRO」に設定する



## 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



### ご注意

スタンダードモード<STD>で行った調整は、プロモード<PRO>時には反映されません。また、プロモード<PRO>で行った調整は、スタンダードモード<STD>時には、反映されません。

# DSFの操作(スタンダードモード)

DSF(デジタル・サウンド・フィールド)について...

DSP(DPH910)接続時は、ACプロセッサのモード設定をスタンダードモード STD にしてください。モード設定については、前ページをご覧ください。

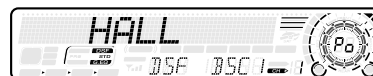
## リスニングポジションを設定する

・初期設定は「FULL SEAT」です。

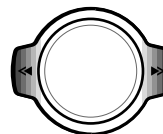
## 1 オーディオモードボタンを2回押して、DSFモードを選ぶ



DSFモード画面を表示します。



## 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、リスニングポジションを選ぶ



押すたびに、リスニングポジションが切り換わります。

・全座席(FULL SEAT) ・前右座(FRONT-R)



・設定なし(PASS) ・前左座(FRONT-L)



・後座席(REAR) ・前座席(FRONT)



## リスニングポジションを調整する

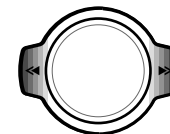
## 1 リスニングポジションを設定した後、プレイ/ポーズボタンを押す



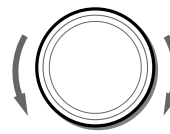
タイトル表示部に「FULL DETAIL」等を表示した後、次のように表示します。



## 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「BALANCE」または「FADER」を選ぶ



## 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、バランスまたはフェーダーを調整する



調整値は以下のように表示します。

・バランス調整時) ・フェーダー調整時)



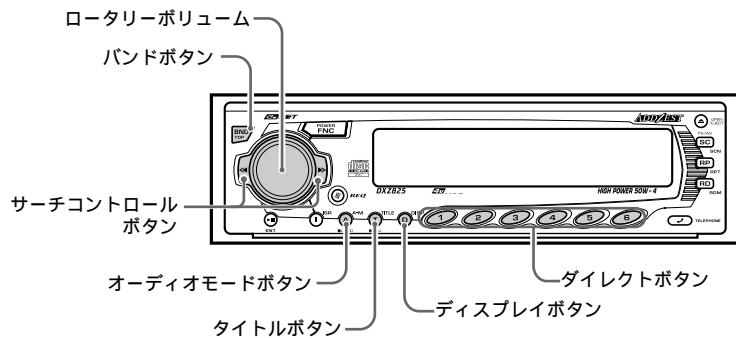
## 4 プレイ/ポーズボタンを押して、DSFモードに戻る



## 5 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



## DSFの操作(スタンダードモード)



### DSFメニューを選ぶ

- 1 オーディオモードボタンを2回押して、DSFモードを選ぶ



- 2 バンドボタンを押して、「BSC1」または「BSC2」を選ぶ



タイトル表示部にベーシックメニュー1の「HALL」またはベーシックメニュー2の「DOME」が表示されます。

・DSP(DPH910)接続時は、「DSF BSC1」(DSFベーシック1)、「DSF BSC2」(DSFベーシック2)、「DSF USR」(DSFユーザー)に切り換わります。

- 3 ダイレクトボタンを押して、DSFメニューを選ぶ



・ユーザーメモリーを選択するときは、バンドボタンを押して「DSF USR」を選んでから、ダイレクトボタンを押してください。

DPH910使用時のDSFベーシックメニューについて

<DSFベーシックメニュー1>

ボタン	機能名	内容
1	HALL(ホール)	広いホールのような音場
2	CHURCH(チャーチ)	天井が高い大聖堂のような音場
3	STADIUM(スタジアム)	広く、天井や壁のない球場のような音場
4	LIVE HOUSE(ライブハウス)	ジャズクラブより大きめのライブ感覚の音場
5	CLUB(クラブ)	低音が強調されたクラブのような音場
6	JAZZ CLUB(ジャズクラブ)	天井が低いジャズクラブのような音場

<DSFベーシックメニュー2>

ボタン	機能名	内容
1	DOME(ドーム)	屋内競技場のような音場
2	CHAMBER(チャンパー)	天井が高い大聖堂のような音場
3	PARK(パーク)	広々とした屋外のような音場
4	THEATER(シアター)	映画館や劇場の音場
5	STUDIO(スタジオ)	リスニングルームのような音場
6	BGM	ヴォーカルをカット

- 4 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



### DSF効果をON/OFFする

ディスプレイのDSFインジケータ(■DSF■)が点灯しているときは、DSF効果が「ON」に設定されています。

・初期設定は「ON」です。

・DSF効果を「OFF」に設定すると、「DSFの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

- 1 オーディオモードボタンを2回押して、DSFモードを選ぶ



- 2 ディスプレイボタンを押して、ONまたはOFFに切り換える



ディスプレイの「■DSF■」が点灯(ON)または消灯(OFF)に切り換わります。

- 3 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



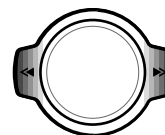
### DSFを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

- 1 DSFメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするDSFメニューを選ぶ

- 2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



- 3 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整項目を選ぶ



DSP(DPH910)のDSF使用時に選べる項目

EFFECT	0 ~ 100%
DELAY	0 ~ 100ms
REAR MIX	0 ~ 100%
REV. TIME	0.3 ~ 10s
HIGH	0.1 ~ 1.0
ROOM SIZE	0.1 ~ 4.0
LIVENESS	0 ~ 10

DSFメニューのBGMはEFFECTのみ調整できます。

REV. TIMEおよびHIGHの調整項目について  
次のDSFメニューを調整のベースとしたときに選択できます。

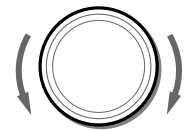
・HALL      ・DOME  
・CHURCH    ・CHAMBER

ROOM SIZEおよびLIVENESSの調整項目について

次のDSFメニューを調整のベースとしたときに選択できます。

・STADIUM    ・PARK  
・LIVE HOUSE    ・THEATER  
・CLUB      ・STUDIO  
・JAZZ CLUB

- 4 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



- 5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す



- 6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



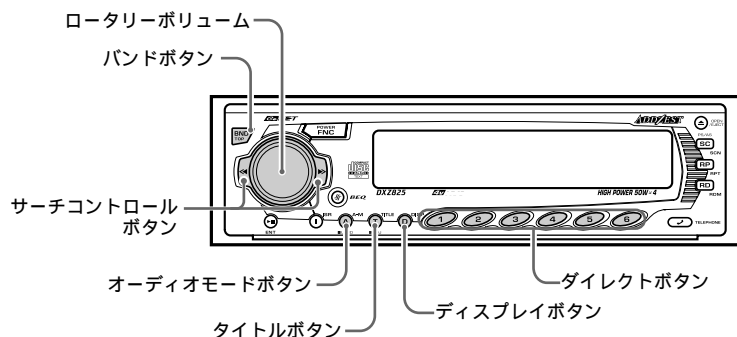
タイトル表示部に「DSF USER」を表示して、ユーザーメニューにメモリーされます。

・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(72ページ)をご覧ください。

- 7 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



# G.EQの操作(スタンダードモード)



## G.EQメニューを選ぶ

G.EQ (グラフィックイコライザー)について...

DSP(DPH910)接続時は、ACプロセッサのモード設定をスタンダードモード **STD** にしてください。モード設定については、62ページをご覧ください。

- 1 オーディオモードボタンを3回押して、G.EQモードを選ぶ



G.EQモード画面を表示します。



- 2 バンドボタンを押して、ベーシックを選ぶ



バンドボタンを押すたびに、「BASC」(ベーシック)または「USR」(ユーザー)に切り換わります。

- 3 ダイレクトボタンを押して、G.EQメニューを選ぶ



## G.EQベーシックメニュー

ボタン	機能名	内容
1	BASS BOOST (バス ブースト)	重低音増強
2	HIGH BOOST (ハイ ブースト)	中高音域増強
3	ACOUSTICAL (アコースティカル)	中音域(人の声)増強
4	IMPACT (インパクト)	低音域と高音域を増強
5	SMOOTH (スムーズ)	しっとりとした感じ
6	FLAT(フラット)	原音、フラットイコライジング

・ユーザーメモリーを選ぶときは、バンドボタンを押して「USR」を選ぶ。

## ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

- 4 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る



## G.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイのG.EQインジケータ(**G.EQ**)が点灯しているときは、G.EQ効果がONに設定されています。

- ・初期設定は「ON」です。
- ・G.EQ効果を「OFF」に設定すると、「G.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

- 1 オーディオモードボタンを3回押して、G.EQモードを選ぶ



- 2 ディスプレイボタンを押して、ONまたはOFFを切り換える



ディスプレイの「**G.EQ**」が点灯(ON)または消灯(OFF)に切り換わります。

- 3 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る



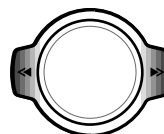
## G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

- 1 G.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、編集のベースとなるG.EQメニューを選ぶ

- 2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

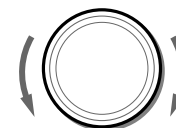


- 3 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整する周波数を選ぶ



- ・調整周波数は、50Hz、100Hz、200Hz、400Hz、1kHz、3kHz、12kHzです。
- ・各調整項目の詳細は、DPH910zの取扱説明書をご覧ください。

- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する



- ・調整範囲は、-6dB ~ +6dBです。
- ・レベルを上げすぎると、音がひずむ場合があります。

- 5 手順3~4を繰り返して、各周波数を調整し終えたら、タイトルボタンを押す



- 6 メモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



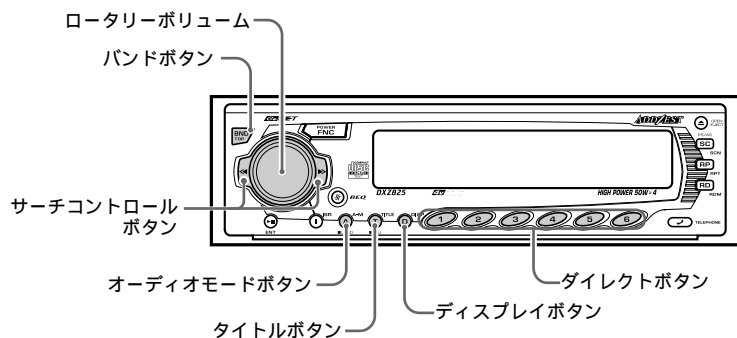
ユーザーメニューにメモリーされます。

- ・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(72ページ)をご覧ください。

- 7 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る



# VSEの操作(プロモード)



## VSEメニューを選ぶ

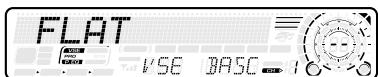
VSE(バーチャル・スペース・エンハンサー)について...

DSP(DPH910)接続時のみ操作できます。また接続時は、ACプロセッサのモード設定をPROモードにしてください。モード設定については、「ACプロセッサのモードを切り換える」(62ページ)をご覧ください。

- 1 オーディオモードボタンを2回押して、VSEモードを選ぶ



VSEモード画面を表示します。



- 2 バンドボタンを押して、ベーシックを選ぶ



「BASC」(ベーシック)または「USR」(ユーザー)に切り換わります。

- 3 ダイレクトボタンを押して、VSEメニューを選ぶ



## VSEベーシックメニュー

ボタン	機能名	内容
1	FLAT(フラット)	原音、フラットイコライジング
2	BASS BOOST(バスブースト)	重低音増強
3	HIGH BOOST(ハイブースト)	中高音域増強
4	IMPACT(インパクト)	低音域と高音域を増強
5	ACOUSTICAL(アコースティカル)	中音域(人の声)増強
6	SMOOTH(スムーズ)	しっとりとした落ち着いた感じ

・ユーザーメモリーを選ぶときは、バンドボタンを押して「USR」(ユーザー)を選ぶ。

## ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

- 4 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



## VSE効果をON/OFFする

ディスプレイのVSEインジケータ(VSE)が点灯しているときは、VSE効果が「ON」に設定されています。

- ・初期設定は「ON」です。
- ・VSE効果を「OFF」に設定すると、「VSEの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

- 1 オーディオモードボタンを2回押して、VSEモードを選ぶ



- 2 ディスプレイボタンを押して、ONまたはOFFを切り換える



ディスプレイの「VSE」が点灯(ON)または消灯(OFF)に切り換わります。

- 3 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



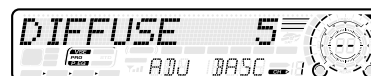
## VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

- 1 VSEメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするVSEメニューを選ぶ

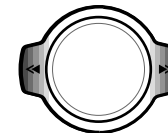
- 2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



VSE調整画面を表示します。



- 3 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整項目を選ぶ

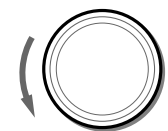


・調整内容

- DIFFUSE** : 広がり感の補正ズレを調整します。
- CAR WIDTH** : 車内の幅に対する補正ズレを調整します。
- CAR LENG** : 車内の長さに対する補正ズレを調整します。

・調整範囲は、1~10です。

- 4 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



- 5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す



- 6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



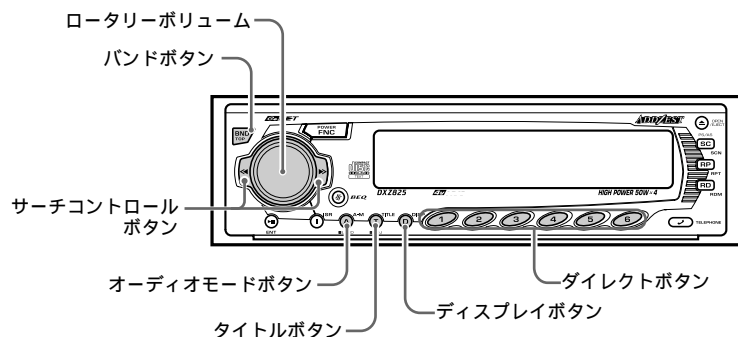
ユーザーメモリーにメモリーされます。

- ・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメモリーにタイトルをつける」(72ページ)をご覧ください。

- 7 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



# P.EQの操作(プロモード)



## P.EQメニューを選ぶ

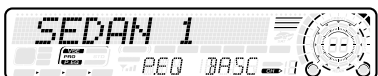
P.EQ (パラメトリックイコライザー) について...

DSP(DPH910)接続時のみ操作できます。また、接続時は、ACプロセッサのモード設定をPROモードにしてください。モード設定については、「ACプロセッサのモードを切り換える」(62ページ)をご覧ください。

**1** オーディオモードボタンを3回押して、P.EQモードを選ぶ



P.EQ画面を表示します。



**2** バンドボタンを押して、ベーシックを選ぶ



「BASC」(ベーシック)または「USR」(ユーザー)に切り換わります。

**3** ダイレクトボタンを押して、P.EQメニューを選ぶ



### P.EQベーシックメニュー

ボタン	VSE名	設定車種
1	SEDAN-1	大型セダン
2	SEDAN-2	小型セダン
3	WAGON-1	大型ワゴン
4	WAGON-2	小型ワゴン
5	MINI VAN-1	大型ミニバン
6	MINI VAN-2	小型ミニバン

・ユーザーメモリーを選ぶときは、バンドボタンを押して「USR」(ユーザー)を選ぶ。

### ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

**4** オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る



## P.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイのP.EQインジケータ(P.EQ)が点灯しているときは、P.EQ効果が「ON」に設定されています。

- ・初期設定は「ON」です。
- ・P.EQ効果を「OFF」に設定すると、「P.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

**1** オーディオモードボタンを3回押して、P.EQモードを選ぶ



**2** ディスプレイボタンを押して、ONまたはOFFを切り換える



ディスプレイの「P.EQ」が点灯(ON)または消灯(OFF)に切り換わります。

**3** オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る



## P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

**1** P.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするP.EQメニューを選ぶ

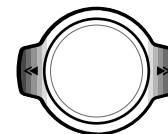
**2** タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



P.EQ調整画面を表示します。



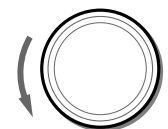
**3** サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整項目を選ぶ



・調整項目

- ・F/R : FRONT/REAR
- ・BAND(バンド) : 1~3
- ・FREQ(周波数) : 20Hz~20kHz
- ・GAIN(ゲイン) : -12dB~+12dB
- ・Q(Qカーブ) : 1/3/5/7/20

**4** ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



**5** 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す



**6** 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

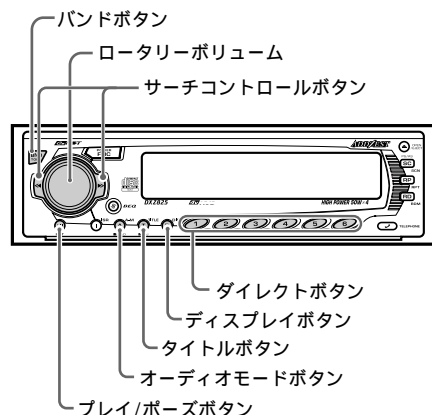
- ・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(次ページ)をご覧ください。

**7** オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る





# ユーザーメニューにタイトルをつける



タイトル入力について...

DSF、G.EQ、VSE、P.EQのユーザーメニューにタイトルをつけて、選択したときに表示することができます。

- 1 オーディオモードボタンを数回押して、タイトルをつきたい調整モードを選ぶ



- 2 バンドボタンを押して、「USR」(ユーザー)を選ぶ



ユーザー画面を表示します。



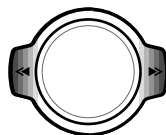
- 3 ディレクトボタンを押して、タイトルをつきたいユーザーメモリーを選ぶ



- 4 タイトルボタンを押す



- 5 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、入力位置を決める



- 6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を切り換える



ディスプレイボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

・入力文字の種類については、「タイトルを入力する」(42ページ)をご覧ください。

- 7 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、入力文字を決める



・10文字まで入力できます。

- 8 手順5～7を繰り返して、タイトルを入力し終えたら、プレイ/ポーズボタンを押す(約2秒間)

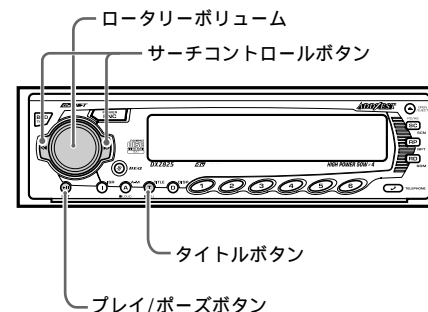


タイトル表示部に「TITLE MEMO」を表示して、タイトルがメモリーされます。

- 9 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



# サブウーファー、オートラウドネス、再生帯域の出力の調整



サブウーファー出力について...

別販DSP(DPH910)に接続した、サブウーファーの出力調整を行うことができます。

オートラウドネス(Auto Loudness Control)について...

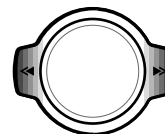
DSP(DPH910)接続時は、音量に応じて低音と高音を自然に強調するラウドネス機能と小音量時に聞こえにくくなる小レベルの音を自然に強調するコンプレッサ機能を、組合せたオートラウドネスに変わります。また、コンプレッサの効果量を0～10の範囲で微調整することができます。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャスト選択表示にする



ディスプレイに「DIMMER LV」を表示します。

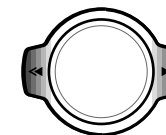
- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「SOUND」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



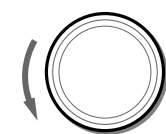
- 4 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整項目を選ぶ



押すたびに、設定項目が切り換わります。

A.LD LEVEL	A.LD Auto Loudness により、ラウドネスを固定したまま、効果量を11段階(0～10)に調整できます。
WOOFER OUT	ウーファースピーカーの本数によって切り換えます。 (OFF MONO ST) モノラル(MONO)またはステレオ(ST)に設定すると、ウーファーボリュームを調整することができます。調整は、オーディオモードボタンを押して行ないます。(0～14)
WOOFER LPF	ローパスフィルターの周波数を設定します。 (50Hz 80Hz 120Hz)
HPF	ハイパスフィルターの周波数を設定します。 (OFF 50Hz 80Hz 120Hz)
TEST TONE	スピーカーの結線確認に使用します。 (F-L F-R R-L R-R W-L W-R ALL OFF F-L)

- 5 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する



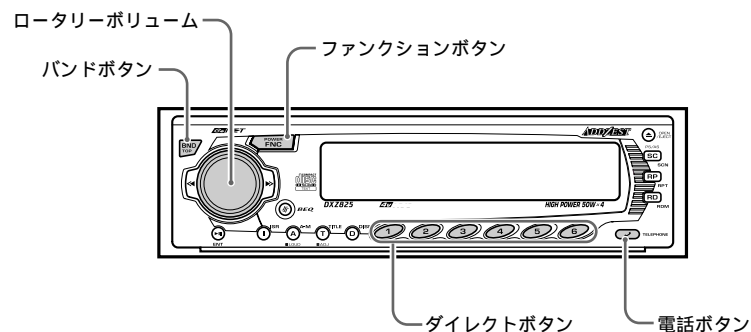
- 6 プレイ/ポーズボタンを押して、アジャスト選択表示に戻る



- 7 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



# 携帯電話機を操作する



本機は、別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニットを接続することにより、携帯電話機による通話をコントロールすることができます。詳しくは、オーディオコントロール付TEL-LINKユニットの取扱説明書をご覧ください。

TEL-LINKユニットに接続可能な、デジタル携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

## 警告

運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

## 電話をかける (スーパースピーダイヤル)

### 1 電話ボタンを押す



電話モードに切り換わります。

### 2 ダイレクトボタン(1～6)を押す



携帯電話機のメモリーダイヤルを呼び出し、登録内容を音声で案内し、更にディスプレイ表示して、自動で発信します。

- ・ファンクションボタンを押すと、即座にダイヤル発信します。

発信中の表示

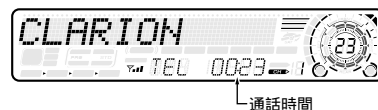


受信レベル

選択No.

CLARION  
0312345678

通話中の表示



通話時間

- ・本機にメモリーされたメモリーダイヤル番号は変更できません。変更するときは、携帯電話側で変更してください。

### 3 電話ボタンを押して、元のモードに戻る



通話を終了するには...

バンドボタンを押してください。

## 着信電話を保留する

### 1 バンドボタンを押す



タイトル表示部の相手先名前あるいは電話番号が点滅します。

保留を解除するには...

ファンクションボタンを押してください。

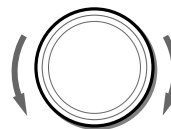


## 通話音量を調整する

### 1 電話ボタンを押して、電話モードにする



### 2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、通話音量を調整する

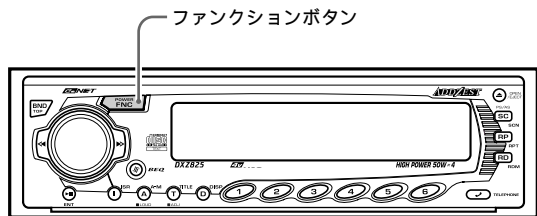


- ・通話時にロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整することもできます。
- ・調整した通話音量はメモリーされます。
- ・電話モード時の通話音量は、オーディオ時の音量設定と異なります。

## ご注意

通話音量を出すスピーカーは、助手席側のスピーカーを指定してください。設定を間違えるとハンズフリー通話のときにハウリングを起こします。スピーカーの設定のしかたは、「電話の割込を設定する」(54ページ)をご覧ください。

## その他の外部機器を操作する



## MDデッキを操作する

別販のMDデッキを接続すると、本機でMDを再生することができます。この場合の操作は、「CDを聴く」(40～41ページ)をご覧ください。

## 1 ファンクションボタンを押して、MD デッキモードを選ぶ



ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

```

ラジオ → CD → (MDデッキ) → (DVDデッキ)
      ↑                      ↓
    AUX                  (CDチェンジャー)
      ↑                      ↓
(TV) ← (DVDチェンジャー) ← (MDチェンジャー)

```

## 携帯用オーディオを聴く (AUXモード)

## AUXモードについて...

本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。  
別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

## 1 ファンクションボタンを押して、AUX モードを選ぶ



押すたびに、次のように切り換わります。AUX  
モードになると、接続された携帯用オーディオの  
プレイ操作で、音が再生されます。

```

    graph LR
      A[AUX] --> B[ラジオ]
      B --> C[CD]
      C --> D["(MDデッキ)"]
      D --> E["(DVDデッキ)"]
      E --> F["(CDチェンジャー)"]
      F --> G["(MDチェンジャー)"]
      G --> H["(DVDチェンジャー)"]
      H --> I["(TV)"]
  
```

## 入力レベルを調整するには...

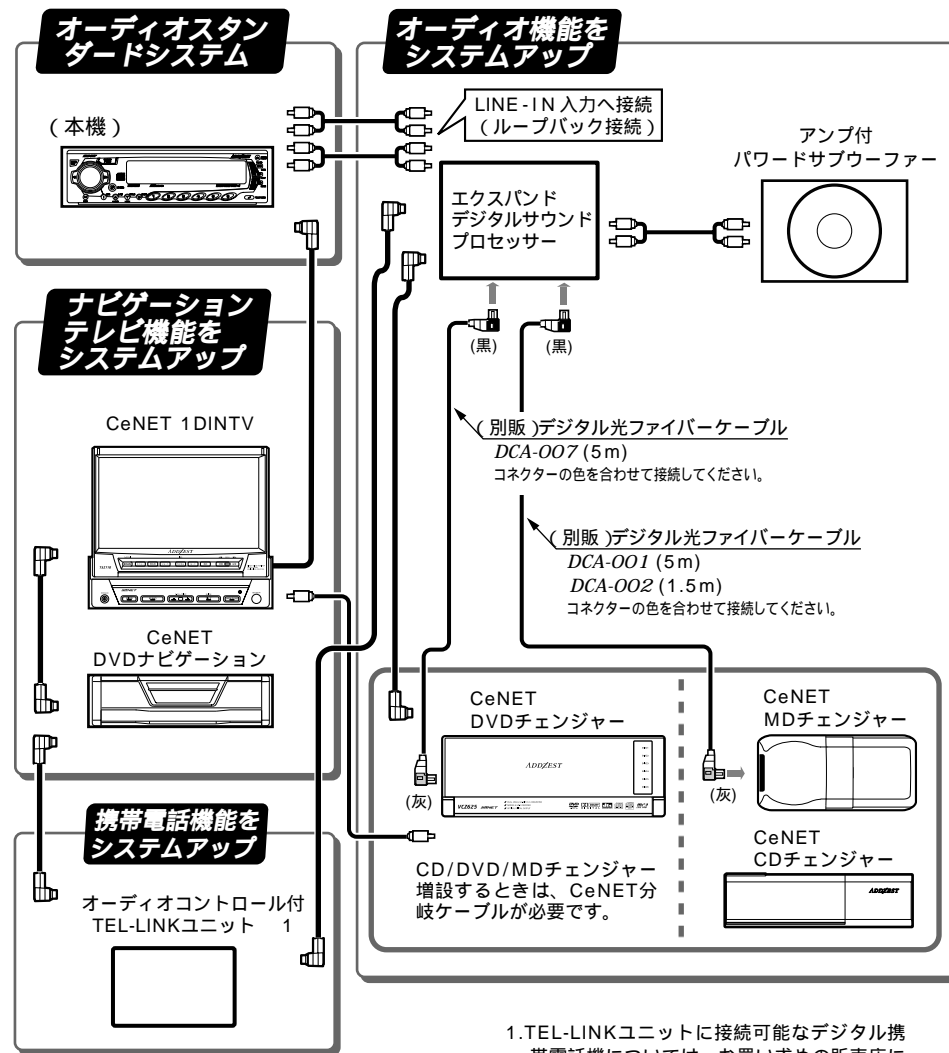
「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」  
51ページをご覧ください。

### AUX入力接続のしかた

本機のAUX入力RCAピンコードへ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。


## システムアップについて

本機は**GeNET**マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



1.TEL-LINKユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。

2. システムアップおよびそれに必要なCeNET ケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

 : CeNETケーブル ( 2)

: RCAピンコード



システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET分岐ケーブルCCA-519含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

CeNET 接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET DVDチェンジャー	5m <オス オス>
CeNET CDチェンジャー	5m <オス オス>
CeNET MDチェンジャー	5m <オス オス>
エクスパンド・デジタル・サウンド・プロセッサ	5m <オス オス>
オーディオコントロール付TEL-LINKユニット	2.5m <オス オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オス×2 メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス メス>

<> 内は、コネクタの形状を表しています。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共 通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	操作パネルの右下にあるリセットボタンを、付属のリセット棒で約2秒間押してください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。

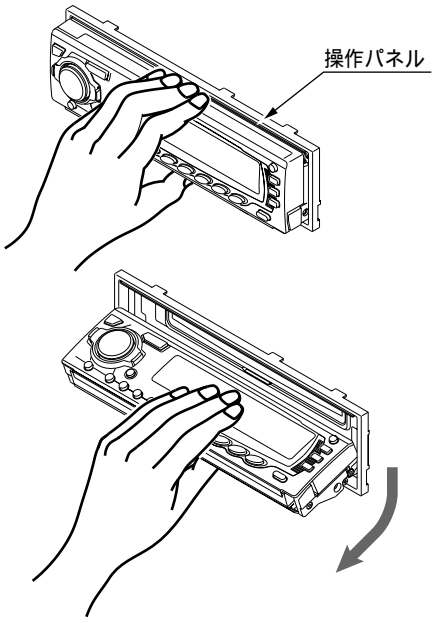
	現 象	原 因	処 置
ラジ オ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
C D	CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
そ の 他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

1 スロープコンソールを手動で開く

操作パネルの中央付近に指を置き、スロープコンソールの下側を手前に引くようにしてゆっくり開いてください。

注意

- ・スロープコンソールを開くとき必要以上の力をかけないでください。故障の原因となります。
- ・スロープコンソールを開くときには、指などを挟まないように注意してください。

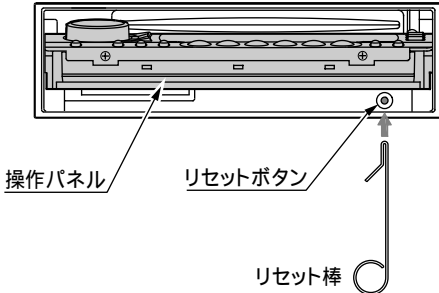


2 リセットボタンを押す

操作パネルの右下にあるリセットボタンを付属のリセット棒で約2秒間押してください。

ご注意

- ・リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
- ・リセットボタンを押した後は、オープンボタンを押してスロープコンソールを閉じてください。またファンクションボタンを押すと数秒後に自動的に閉じます。



# エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。  
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CDモード	ERROR2	本機にCDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	本機のCDメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているCDと交換してください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャー内のメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりがすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
DVDチェンジャー	ERROR2	DVDチェンジャー内のディスクがローディングできないときの表示	DVDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR P	パレンタルレベルエラー	パレンタルレベルを正しく設定してください。
	ERROR R	リージョンコードエラー	リージョンコードの正しいディスクを入れてください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。  
それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

# 仕様

## CDプレーヤー部

周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz ± 1 dB
SN比	: 100 dB
ダイナミックレンジ	: 95 dB
高調波ひずみ率	: 0.01 %

## FMチューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 90.0 MHz
実用感度	: 9 dBf
50 dBクワイティンク感度	: 15 dBf
SN比	: 70 dB
周波数特性	: 30 Hz ~ 15 kHz ± 3 dB
分離度	: 35 dB(1 kHz)
高調波ひずみ率	: 0.3%(1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1,629 kHz
実用感度	: 28 dB μV
SN比	: 50 dB

## オーディオ部

定格出力	: 18 W × 4(20 Hz ~ 20 kHz, 1%, 4 )
最大出力	: 50 W × 4
適合インピーダンス	: 4 (4 ~ 8 )
3バンドEQ	BASS(30 Hz): +15 dB、-12 dB
	MID(1 kHz): ±12 dB
	TREBLE(10 kHz): ±12 dB
ラウドネスコントロール	: +8 dB(100 Hz) (音量ステップ 17)
ラインアウト出力レベル	: 4V(CD1 kHz)

## BEQ部

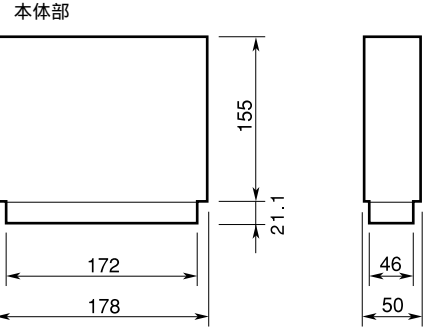
BEQ 5モード	: BASS BOOST IMPACT EXCITE USER CUSTOM TONE BYPASS
----------	--

## AUX部

入力感度	LOW : 650 mV(4V出力時)
	MID : 1.3V(4V出力時)
	HIGH : 2.1V(4V出力時)

## 共通部

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A(1W時)
ヒューズ定格	: 1.5A
外形寸法	: 178(W) × 50(H) × 176.1(D) mm [取付寸法: 155(D) mm]
質量	: 1.6 kg



## 付属品

- 取扱説明書 ..... 1部
- 取付説明書 ..... 1部
- 修理相談窓口リスト ..... 1部
- 保証書 ..... 1部
- 電源コード ..... 1本
- セムス六角ボルト ..... 5本
- サラネジ(M5 × 8) ..... 4本
- リセット棒 ..... 1本

\* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

その他

# アフターサービスについて

## 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

## 保証期間

お買い求めの日より1年間です。

## 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

## 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

## クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2  
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)  
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ..... ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。